

少子社会における成人期への移行に関する母子保健学的研究（3） 大学生の恋愛観・将来観に関する調査

母子保健研究部	齋藤幸子
客員研究員	宮原 忍
目白大学	内山絢子
嘱託研究員	近藤洋子（玉川大学）
嘱託研究員	星山佳治
嘱託研究員	原美津子（東京都職員互助会東京都職員総合健康センター）
国立社会保障・人口問題研究所	佐藤龍三郎

要 約

養育力を備えた家庭形成へ向けて、男女のパートナーシップ構築に注目した調査研究を実施した。若者の意識と行動を知る目的で、東京および近郊で大学生を対象とした質問紙調査を実施し、有効回答 252 件について分析した。調査時期は 2011 年 12 月～2012 年 3 月であった。調査の内容は、親密性、平等感、家族形成意識、将来観、性役割観、社会観、自己肯定感などで、以下の仮説を検討した。

仮説 1：親密性、自己肯定感が高い群は、家族形成に積極的である。

仮説 2：育った環境（両親との関係、親の夫婦関係など）は、若者の結婚観に関連する。

仮説 3：性役割・結婚と仕事の両立などにおけるディレンマやダブルバインドが、若者の家族形成意欲（結婚・出産）を抑制する。

性別および結婚の意思のある群と未定の群の 2 群間の比較、さらに、結婚の意思を基準変数とした重回帰分析を行い、結婚の意思の規定要因を男女別に抽出した。

結論として、3 つの仮説は支持されたが、ダブルバインドの問題については更なる追究が必要といえた。

キーワード：成人期への移行、家族形成意欲、恋愛観、親密性、自己肯定感

Survey on the Transition to Adulthood in the Low Fertile Japanese Society from the Viewpoint of Maternal and Child Health (III)

Sachiko SAITO, Shinobu MIYAHARA, Ayako UCHIYAMA,
Yoko KONDO, Yoshiharu HOSHIYAMA, Mitsuko HARA, Ryuzaburo SATO

Abstract: With an aim of promoting generativity in Japanese families, a study was conducted to investigate the factors influencing the desire to form a male-female partnership. Between December 2011 and March 2012, a questionnaire was administered to undergraduate and graduate students at four universities in the Tokyo Metropolitan Area. The responses of 85 men and 167 women were analyzed to explore the factors predicting the desire for marriage. The following three hypotheses were tested.

1. Students with high scores for intimacy and self-affirmation have a positive outlook toward starting a family.

2. Psychosocial background factors, such as students' relationship with their parents' and the relationship between parents themselves, are related with the intention to start a family.

3. Young people's decisions regarding marriage, starting a family, etc., are influenced by the double bind they experience in juggling gender roles, marital responsibilities, and careers.

The respondents were classified into two groups according to the strength of their desire to start a family. Gender-wise and between-group analyses were conducted. Factors predicting the desire for marriage were extracted using multiple linear regression analysis.

Although all three hypotheses were proved, the third hypothesis needs to be explored further.

Key words : Transition to Adulthood, starting a family, Sense of value about love, Intimacy, self-affirmation

I. 研究目的

本研究は、少子問題研究の一環として「次世代の養育性を育てる」ことを目標として調査研究を行うものである。母子保健学的見地から、青年から成人への移行期を「青年が次世代の親となる過程」としてとらえ、その支援策を検討するための資料を得ることとする。

親となる過程として、通常はまずカップル形成が必要であるが、わが国の男女の関係性について、近年気がかりなデータが報告されている。第5回男女の生活と意識に関する調査（2010年、日本家族計画協会）¹⁾では、前回調査に比べてセックス嫌いの若者が増えているとの指摘があり、婚姻関係においては、セックスレスが進んでいるとされている。また、第14回出生動向基本調査独身調査の結果（2010年6月実施）²⁾では、いずれは結婚しようとする未婚者の割合は、男性86.3%・女性89.4%と依然として高い水準にあるが、一方、異性の交際相手を持たない未婚者が前回と比べ男女ともに増加している（男性52.2%→61.4%、女性44.7%→49.5%）。全体として、結婚願望が高い水準を維持しているにもかかわらず、わが国の男女の関係が不活発な方向に向かっているといえるのではないだろうか。昨年度の報告で取り上げた、いわゆる草食系も話題となったところである。

また、デート・バイオレンスや婚姻後のDV、離婚の増加など、男女の関係性の問題が顕在化し、家庭養育機能の低下が著しい例があることは周知の通りである。

このような状況から、養育力を備えた家族形成の基盤である男女のパートナーシップを構築するためには、その前提となる男女の関係性について検討が必要と考えた。若者の親密性、平等感、家族形成、将来観などについて検討するため、3年計画で調査研究を実施することとした。初年度（2009年度）の中学生対象調査³⁾、2年次（2010年度）は高校生対象調査⁴⁾に続き、本年は大学生を対象とした調査を行い、現代青年の意識や行動の一端を明らかにする。

政策課題との関連としては、子ども・子育てビジョン（平成22年1月29日）、目指すべき社会への政策4本柱の1つ「子どもの育ちを支え、若者が安心して成長できる社会へ」における施策の具体的内容「家族形成に関する調査・研究等」に対応するものである。

II. 研究方法

1. 調査概要

1) 対象と方法

はじめに、都内の大学生を対象に、グループ・インタビューおよび記述回答を中心とした小規模調査を行って問題点を抽出し、本調査「若者の恋愛観と将来観についてのアンケート」票を作成した。

本調査は、首都圏（東京都内、千葉県、山梨県）の大学において、集合調査法により行い、男性81名、女性174名の回答を得た。集合調査のため回収率は100%といえるが、男性のサンプルが少なかったため、都内の福祉施設で研修中であった大学生を通じて、都内および近郊に在住の男子大学生に調査票の配布を依頼し、個別の返信用封筒にて回収した。45通配布し回答は7件で回収率は16%であった。回収数の合計は262件であった。このうち既婚者4名と年齢30歳以上の6名を除いた男性85名・女性167名、計252名を今回の集計対象とした。既婚者（年齢21～22歳）および30歳以上（全員未婚）については、記述回答部分を中心に質的分析の対象とした。

なお、上記と同時期に、関西の大学1カ所において調査

票約200部の配布を依頼し、学生から個別に郵送による返信を求めたが回収率が10%と著しく低かったため、全体集計には含めず、記述回答を中心に質的分析の参考資料とした。

調査時期は2011年12月～2012年3月であった。

2) 倫理的配慮

個別封筒を用意するなどプライバシーに配慮し、調査内容と方法については、日本子ども家庭総合研究所倫理委員会の承認を得た。

3) 調査内容

初年度（2009年度）の中学生、2年次（2010年度）高校生対象調査の内容を一部継承したが、意識をより詳しく知るために記述回答をより多く設けた。主な内容は以下の通りで、調査票は稿末に添付した。

<調査項目一覧>

（問1～4）属性

（問5～6）出身中学・高校の共学、別学

（問7～12）家族関連

（問13）結婚への理想の展開

（問14）学生の恋愛について（記述回答）

（問15）性行動と恋人との関係：全15項目（4件法）

（問16）女性または男性に生まれてよかったこと・よくなかったこと：記述回答

（問17）両親のような夫婦になりたいか（4件法）

（問18）育ったような家庭を築きたいか（4件法）

（問19）両親のあり方の結婚観・家庭観への影響（記述回答）

（問20）結婚の意思と結婚の阻害要因（記述回答）

（問21）将来の子ども希望有無・希望子ども数、欲しい・欲しくないそれぞれの理由（記述回答）

（問22）子育てで人は成長すると思うか（記述回答）

（問23）少子化問題についての意見（記述回答）

（問24）価値観：性役割観、社会観：全16項目（4件法）

（問25）男女平等などについて意見（記述回答）

（問26）恋愛観、自己評価：全14項目（4件法）

（問27）親密性：全7項目（5件法）

（問27～28）体格について

（問29）ケイタイやネットの利用について

（問30）その他の意見、要望（記述回答）

2. 分析方法

1) 男女別集計により、性差を明らかにした。

2) 将来結婚する意思が現時点ではっきりしているか否かによって対象を2群に分けて比較した。

3) 多変量解析（重回帰分析）により結婚の意思を規定する要因を男女別に分析した。

上記により、予備調査から導き出された以下の仮説を検討した。

仮説1：親密性、自己肯定感が高い群は、家族形成に積極的である。

仮説2：育った環境（両親との関係、親の夫婦関係など）は、若者の結婚観に関連する。

仮説3：性役割・結婚と仕事の両立などにおけるディレンマやダブルバインドが、若者の家族形成意欲（結婚・出産）を抑制する。

III. 研究結果

集計結果を示す表は末尾にまとめて掲載した。表3にはカテゴリー集計の結果を、表4には数量変数および順位変数（4件法および5件法）の得点の平均値の比較を、表5には体格評価の分析結果を示した。以下では、1.単純集計および性差については、ほぼ調査票の設問ごとに述べ、

2. 結婚の意思別では、トピックごとに整理して述べる。3. では多変量解析の結果を、4. では仮説の検討を行う。

有意差判定はカイ2乗検定および Wilcoxon の順位と検定で行った。危険率 0.05 以下を有意差ありとし、文中(*) は危険率 0.01 以下、(*) は危険率 0.05 以下を表す。

1. 単純集計および男女別集計結果

1) 回答者の属性 (問 1~6)

有効回答 252 件の性別人数内訳は、男性 85 名 (33.7%) 女性 167 名 (66.3%)、年齢は 18~28 歳で平均年齢は 21 歳であった。学年は 1 年 1.6%、2 年 15.5%、3 年 67.5%、4 年 15.5%、大学院 1.6% であった。専攻別の内訳は、文系 77.3%、理系 16.1%、芸術系 6.6% であった。いずれも性差はなかった。

出身校 (中学および高校) での共学・別学体験は、高校で「男女別学だった」との回答は男性 10.7%・女性 22.2% と女性の割合が高かった (*)。

2) 家族について (問 7~11)

現在、父が健在は 92.1%・母健在は 96.4%、両親と同居は 60.3%、両親のいずれか 1 人と同居が 9.7% であった。一人暮らしは 20% で性差はなかったが、寮生活は男性が 22.4%、女性 1.2% と男性が多かった。きょうだいは、なし 7.9%、本人を含み 2 人きょうだい 53.6%、3 人 30.2%、4 人 3.6%、5 人 0.4% であった。

母親が就業している割合は、回答者が 11~13 歳の頃は 56.3%、14~15 歳の頃は 65.9%、16~18 歳の頃は 71.4%、現在は 71.4% であった。

3) 両親との関係 (問 12)

14~18 歳くらいのときの両親との感情面での関係については、父母それぞれについて「1 存在感がなかった」「2 距離感があった」「3 親しく感じていた」の 3 つの選択肢から回答を求めた。父母の違いをみると、「親しく感じていた」は父 54.2%・母 80.8%、「距離感があった」は父 41.0%・母 16.0%、「存在感がなかった」父 9.7%・母 2.8% と、父に比べて母を親しく感じていた割合が高かった。回答者の性による差はなかった。

4) 結婚について (問 13、20)

問 13 では、大学生が現在の恋愛と将来の結婚をどの程度結びつけて考えているか、6 つの選択肢から回答を求めた。「3 卒業してから出会った人と付き合い、いずれ結婚したい」が最も多く 46.0% であった。次いで「2 今付き合い合っている相手と結婚したい」24.2%、「4 学生のうちに相手を見つけて、卒業してから結婚したい」10.7% であった。「6 結婚して家庭をもちたいとは思わない」は 5.2% であった。これらの項目で性差は認められなかった。「その他」を選択した 12% の内容の記述は、男性 16 件、女性 22 件であった。その内容は「わからない」「考えていない」など態度が未定である場合と、「時期は問わずいずれは結婚の意思はある」「条件が整えば結婚する」などであった。

将来の結婚の意思について (問 20)、「1 する」「2 しらない」「3 わからない」の 3 つの選択肢から回答を求めた。「結婚する」の割合は、男性 54.1%・女性 64.7%、全体では 61.1% にはっきりとした結婚の意思があった。「しらない」は男性 2 名・女性 3 名、全体の 2.0% であった。「わからない」は男性 38.8%・女性 29.9% で、全体の 32.9% であった。

問 20 ではさらに、「結婚を阻害する要因について何が考えられるか、社会がどう変わればよいか」を記述回答で求

めた。男性 55 件 (64.7%)・女性 100 件 (59.9%) 計 155 件の記述があり、「1 する」「2 しらない」「3 わからない」の回答別に記述した割合を見ると 64.9%・40.0%・62.7% であった。内容は、「経済的問題」「相手が見つからない」「自分の時間がなくなる」「仕事と家庭の両立」「家族の反対」など、ほとんどが阻害要因で、社会がどう変わればよいかについての言及は少なかったが、「安心して子育てできる環境」「経済状況の改善」などの記述があった。

5) 結婚観への両親からの影響について (問 17、18、19)

将来のパートナーとの関係や築きたい家庭像について「両親のような夫婦になりたいと思うか」(問 17)、「自分が育ったような家庭を築きたいか」(問 18)を、「1 そう思う」~「4 全く思わない」の 4 件法で設問した。「1 そう思う」と「2 ややそう思う」を合算した肯定割合は、夫婦像は 56.9%、家庭像は 67.1% で、性差は認められなかった。男女ともに、両親の夫婦像に比べ、育った家庭を肯定的に捉える割合が高かった。

問 19 では、具体的に「両親のあり方があなたの結婚観・家庭観にどのような影響を及ぼしているか」について記述回答を求めた。男性 59 件 (69.4%)・女性 126 件 (75.4%)、全体で 185 件 (73.4%) の記入があった。

内容は、プラス面では「両親の仲が良いので、自分も明るい家庭を作りたいと思った」など夫婦の関係の良さに関する記述と、「常に子どものことを考える愛情あふれる両親であった」など親としての評価で、マイナスの場合は「幸せな家庭が何なのか分からない」「反面教師とする」という意志が記されるなどであった。

6) 男女の交際について (問 14、15)

学生の恋愛や男女の関係性について困っていることや、感じていることを記述回答で求めた (問 14)。男性 35 件 (41.2%)・女性 49 件 (29.3%) の回答があった。記述内容は、「男女の友情はあるか」「めんどろ」「価値観の違い」「恋愛はリスク」「就職との関連」など、多くは、自身の恋愛や付き合い方に関する戸惑いや悩みであった。「付き合いが軽い」など周囲の状況に対する意見もみられたが、自身の恋人や異性の友人との距離の取り方を周囲からどう見られるかを気に病む状況も認められた。

問 15 では、男女の関係や付き合い方についての行為や行動を 10 項目あげ「1 よくない」~「4 かまわない」の 4 件法で、各項目の許容度をみた。項目 1~6 は性行動に関する内容、項目 7~10 はデート・バイオレンスに通ずる内容である。以下で全体の傾向と性差に触れるが、有意差検定は 4 件法の得点の順位と検定で行った (表 4)。

否定する割合 (「よくない」と「どちらかといえばよくない」の合算) が高かった項目は「3 避妊なしのセックス」83.7%、「4. 恋人以外とのセックス」87.3%、および項目 5~7 のデート・バイオレンス関連はいずれも 86% を越えていた。

許容する割合 (「かまわない」と「どちらかというとかまわれない」の合算) が高かった項目は、「6 女性が結婚まで処女でいる」86.5%、「5 男性が結婚まで童貞でいる」83.3%、「1 結婚を前提としないで、セックスをする」75% であった。

性別に見ると、「1 結婚を前提としないで、セックスをする」は男性 75.3%・女性 74.9% で差がなかった。

項目 2~4 では男性の許容する割合が女性にくらべて高く、以下に示すように「3 避妊なしのセックス」「4 恋人以外とのセックス」で有意な差が認められた。

「2 結婚を前提としないで、同棲」男性 67.1%・女性 58.7% 「3 未婚の男女が避妊しないで、セックス」男性 24.7%・

女性 10.2% (**)

「4 恋人以外の人とセックスする」男性 20.0%・女性 7.2% (*)

項目 5～6 は女性の許容割合が男性に比べて高いが、有意な差ではなかった。

「5 男性が結婚まで童貞でいる」男性 78.8%・女性 85.6%

「6 女性が結婚まで処女でいる」男性 82.4%・女性 88.6%

項目 7～10 のデート・バイオレンスに繋がる行為の許容割合はいずれも男性が女性にくらべて高く、「9 無理にキスをする」「10 無理に身体に触る」の 2 項目で有意な差が認められた。

「7 相手のメール履歴をチェックする」男性 22.4%・女性 7.2%

「8 常に相手の居場所を確認」男性 16.5%・女性 12.0%

「9 無理にキスをする」男性 16.5%・女性 8.4% (*)

「10 無理に相手の身体に触る」男性 14.1%・女性 4.8% (*)

7) 男性または女性として生まれたことについて (問 16)

男性は男性として、女性は女性として生まれたことについて、「よかったと思うこと」、「よくないと思うこと」をそれぞれ記述回答で求めた。「よいこと」の記述は男性 55 名 (64.7%)・女性 112 名 (44.4%)、「よくないこと」は男性 43 名 (50.6%)・女性 106 名 (42.1%) で、いずれも男性の記述した割合が高かった。

よかったと思うことの内容は、男性では「体力がある」「容姿が気にならない」「社会的に有利」「出産の負担がない」「人間関係が楽」「気ままな行動ができる」などであった。女性では「おしゃれができる」「出産ができる」「ガールズトーク」「選択肢が多い」「女性向け優待サービスがある」などの他、「多くを求められない」など一人前に扱われないことを肯定的にとる傾向もみられた。

よくないと思うことの内容は、男性では「働かなくてはいけない」「結婚という逃げ道がない」「男は不利」「子どもを産めない」「責任が重い」などで、女性では「生理が辛い」「力が弱い」「女性同士の関係がめんどう」「出産というリスク」「下にみられる」などがあげられた。女性で「生理がめんどう」「生理痛」など月経に関する記述は多く、106 件中 34 件 (32%) であった。

男女共通であげられたよくなかったことは、男だから、女だからと「ステレオタイプを求められる」であった。

全体的に見ると、生理的側面、社会的側面がそれぞれあげられているといえよう。よかったことよくないことは表裏で、例えば「出産」や「同性との関係」は、人によって肯定的に捉えられたり否定的に捉えられたりしている。

8) 子ども・子育てについて (問 21、22)

将来子どもが欲しい割合は 83.3% で性差はなかった。欲しい子どもの人数は、2 人が最も多く 49.6%、3 人が 23.0%、1 人が 4.6%、4 人が 1% で性差はなかった (問 21)。

問 21 では、子どもを欲しい理由と欲しくない理由、またどのような条件が整えば子どもを生んでもよいと思うかを記述回答で求めた。男性 67 名 (78.8%)・女性 131 名 (78.4%) の記入があり、欲しい理由は「楽しいから」「子どもが好きだから」「兄弟がいなかったから 2 人以上欲しい」「世話が好き」「自分の人間の幅が広がると思うから」「歴史を自分で止めたくないから」などであった。欲しくない理由は、「育てる自信がない」「お金がかかる、めんどう」「家族を持つビジョンがもてない」「お金と時間は自分のために使いたい」などであった。子どもを生んでもよい条件としては、「経済的余裕」「ワーク・ライフ・バランス」「子育て支援」などであった。

問 22 子育てや他者の世話をすることで人は成長するという考え方に対して「そう思う」は全体の 91% と高い肯定率で、男性 85.9%・女性 93.5% と女性が肯定する割合がやや高い傾向が見られたが、有意な差ではなかった。

問 22 で併せて求めた意見の記述は男性 40 名 (47.1%)・女性 81 名 (48.5%) の回答があった。「親になることで成長できる」「優しくなれる」「考えが深くなる」など肯定的な意見が多い中で、「想像できない」「人による」「まず自分がしっかりしないと不可能」などの意見もあった。

問 23 では、少子化問題について記述回答を求め男性 67 名 (78.8%)・女性 131 (78.4%) の回答を得た。子どもに関する前問と同様、記入率が高く関心の高さが伺えた。「対策をとるべき」との意見が多く、「子育て支援」「経済対策」などの必要性が指摘される一方、「無理矢理増やすのは問題」「未婚者が増えるなど個人的問題を取り上げて私たちのせいにするのは止めて欲しい」などの意見がみられた。

9) 個人・家庭・社会生活に関する価値観 (問 24)

性役割観を含む個人生活や家庭生活、子育て観、個人と社会の関わりなどについての 4 件法で設問した。「1 そうは思わない」と「2 あまりそう思わない」を否定群、「3 ややそう思う」と「4 そう思う」を肯定群として、肯定群の割合と性差について以下に記す。有意差は 4 件法の得点の順位和検定を行った結果である (表 4)。

「1 生涯独身は望ましい生き方ではない」は全体の肯定率 53.6% で、男性 60%・女性 47.3% と男性の割合が高いが有意な差ではなかった。結婚を支持する割合はかろうじて過半数あるという、結婚規範は弱まっていることを示す結果であった。

性役割観や性差観について項目 2～8 で設問した。

男性の割合が女性にくらべて高かった項目は以下 4 項目で、「5 デートの費用」で有意な差が認められた。

「2 男性は働いて家計を支え、女性は家事・育児をするものである」男性 44.7%・女性 31.7%

「3 共働きの夫婦でも、家事・育児はもっぱら女性がした方がよい」男性 29.4%・女性 20.4%

「5 デートの費用は男性が払うべきである」男性 34.1%・女性 22.2% (*)

「6 男性と女性が、互いのことを理解するのは難しい」男性 70.6%・女性 67.7%

男性に比べて女性の肯定率が高かった項目は、「7 男らしさ、女らしさにこだわらないで個性を發揮した方がよい」男性 81.2%・女性 87.4% であるが、有意な差はなかった。

「4 デートは男性から誘うべきである」男性 31.8%・女性 33.5%、「8 女性の一歩の幸せは、子どもを産み育てることである」男性 28.2%・女性 31.1% は差がなかった。

項目 9～12 は子ども観・子育て観で、11 以外はいずれも肯定率が高く性差はなかったため、全体割合を示す。

「9 子どもは、家庭に明るさや活力を与える」91.7%

「10 子どもを育てることはやりがいがある」92.9%

「12 次世代の子ども達のために地球環境をよくしたい」82.5%

「11 子どもを保育園に預けることはかわいそうなことである」では男性 50.6%・女性 34.7% と、男性の肯定率が有意に高かった (**).

13～16 では社会観について設問した。いずれも女性の肯定率が高いが、得点では有意な差は認められなかった。

「13 わが国は男女共同参画社会をめざすべきだ」男性 76.5%・女性 86.2%

「14 自分は社会のために何らかの貢献をしたい」男性 74.1%・女性 84.4%

「15 自分の人生は社会への貢献なくしては考えられない」男性 38.8%・女性 42.5%

「16 日本の将来には希望が持てる」男性 29.4%・女性 35.3%

10)男女平等に関する意見(問25)

男女平等、夫婦は対等、男女共同参画社会について記述回答で意見を求めた。男性34名(40%)・女性38名(22.8%)の回答があった。他の記述回答に比べて回答率は低い。男女ともに単なる賛成意見より、「平等や対等は難しい」「男女は違う」などの意見や、現状が平等でないことの意見が目立っていた。男女ともに、男女共同参画社会のイメージが抱けていないように思われた。

11)恋愛観・自己評価

恋愛について自身の考えや自己肯定感などを14項目について、各々4件法で設問した。以下では「4当てはまる」と「3まあ当てはまる」を肯定群、「2あまり当てはまらない」と「1当てはまらない」を否定群として、肯定群の割合と性差について記す。有意差は4件法の得点の順位と検定の結果である(表4)。

1～6は恋愛に関する項目で、1～2は女性の肯定率が男性に比べて高かったが、有意な差ではなかった。

「1早く恋人が欲しい」男性68.2%・女性73.7%、

「2いつか人生をともにするパートナーに出会える」男性75.3%・女性83.2%、

項目3～6は男性の肯定率が女性にくらべて高かったが、「3」のみで有意な差が認められた。

「3好きな人ができたらなんとか思いを伝えたい」は男性82.4%・女性62.9% (**)

「4愛し合っていれば性交渉があるのは同然だ」男性

80.0%・女性76.6%、

「5草食系である」男性64.7%・女性61.7%、

「6肉食系である」男性35.3%・女性32.9%、

7～9は自己肯定感に関する項目で、「9容姿に満足」で男性の肯定率が有意に高かった。

「7自分の性に生まれてよかった」男性80.0%・女性85.0

「8私には他人にないよいところがある」男性63.5%・女性55.1%

「9自分の容姿に満足」男性44.7%・女性28.1% (**)

10、11は達成意欲に関する項目で「10将来の計画や目標を持っている」は60.0%・女性64.7%と女性の肯定率が高く、「11困難なことにぶつかるとかえってやる気が出る」は男性52.9%・女性38.9%と男性が高かったが、いずれも有意な差ではなかった。

12は共感性に関する項目で「人が悲しんでいるのを見ると、自分も悲しくなる」男性65.9%・女性85.0%と女性の肯定率が高かった(*)。

13、14は成長過程の経験に関する項目で、「13異年齢集団で遊んだ経験がある」は、男性76.5%・女性73.1%で性差はなく、「14大切に育てられた」男性87.1%・女性91.6%で女性の得点が高かった(*)

12)親密性(問26-2)

親密性はEPSI(エリクソン心理社会的発達段階目録)から7項目を使用した⁵⁾。「0全く当てはまらない」～「4とてもよく当てはまる」の5件法で下位項目1、4、6、7の4項目は逆転項目(Rを表示する)である。これらを逆転して合計した得点を親密性得点とする。下位項目では以下

の3項目(いずれも逆転項目)で性差が認められたが、合計得点では男性16.0・女性16.9で性差がなかった。「1誰かに個人的な話をされると、私はとまどってしまう(R)」
「4私はもともとひとりぼっちである(R)」では女性の得点が高く、「6私は目立つのを好まない(R)」では男性の得点が高かった(表4)。

13)体格について(問27、28)

体格についての自己認識と、身長と体重の実際の値を設問した。

身長が「低い」と回答した割合は25.0%、「普通」49.6%、「高い」18.8%で、性差はなかった。体重については、「太っている」男性18.8%・女性35.3%と女性の方が、太っていると答えた割合が高かった。

表5に実際の値と関連を示した。自己評価別にそれぞれの平均値を算出した結果、身長については、男性「低い」165.6cm・「普通」171.2cm・「高い」179.8cm、女性「低い」152.2cm・「普通」158.7cm・「高い」164.9cmであった(表5-1)。体格(体重)については、男性で「太っている」と答えた群の平均体重は71.1kg・「普通」64.3kg・「やせている」55.7kg、女性では「太っている」56.7kg・「普通」47.1kg・「やせている」44.4kgであった(表5-2)。実際の値の平均値は、ほぼ自己評価に添った値であるといえる。

次に実際の肥満度をみるため、BMI(Body Mass Index)＝身長m/体重kg²を算出した。BMI平均値は、男性21.6・女性20.1であった。自己評価との関連では、男性で「太っている」と答えた群のBMI平均値は24.2・「普通」21.7・「やせている」18.9、女性は「太っている」22.5・「普通」19.2・「やせている」17.4であった(表5-4)。

BMIの分類では、18.5未満が「やせ」、18.5以上25未満「標準」、25以上「肥満」となっており、これにそって分類した結果、男性は「やせ」6.8%・「標準」82.2%・「肥満」11.0%、女性は「やせ」24.5%・「標準」72.6%・「肥満」2.8%と、女性に「やせ」の割合が高かった(**)(表5-5)。

さらに実際の体格(BMI)と自己評価についてクロスし、以下の3群に分類した(表5-6)。

1. 実際のBMIがやせ、自己評価が普通＝過大評価
1. 実際のBMIが普通、自己評価が太っている＝過大評価
2. BMIカテゴリーと自己評価が一致＝適正評価
3. 実際のBMIが普通、自己評価がやせている＝過小評価
3. 実際のBMIが肥満、自己評価が普通＝過小評価

男女別の割合は、男性の過大評価(やせ願望)15.3%・適正評価63.9%・過小評価(太りたい願望)20.8%、女性は過大評価(やせ願望)45.3%・適正評価52.8%・過小評価(太りたい願望)1.9%であった。男性は過小評価(太りたい願望)多く、女性は過大評価(やせ願望)が多かった(**)(表5-7)。

14)携帯やネットの利用状況(問29)

一日のメールのやり取りは、全体の平均が10.2通、性別内訳は男性9.2通・女性10.6通で女性が多く、一日に電話で話す時間は全体平均13分で、男性7.5分・女性15.7分と女性の値が大きかった。ネットの利用は188分で性差はなかった。

SNS(ソーシャルネットワークサービス)を利用している割合は全体の77.1%で、男性69.9%・女性80.7%と女性の方が利用している割合が高かった。その種類は、Mixi56.1%、Twitter55.6%、Facebook28.6%の順で多か

った。

15) 性差についての小括

対象の家族形成意識は、結婚の意思ありが男性 54%・女性 65%、全体では 61%という結果であった。一方、子どもの欲しい割合は 83%で性差はなかった。

性差が認められた項目としては、性行動規範に関する設問で、デート・バイオレンスに繋がる行為について男性の許容度が高かったことがあげられる。価値観では、男性は「デートの費用は男性が払うべき」などステレオタイプを支持する傾向認められ、「子どもを保育園預けることがかわいそう」と思う割合が女性より高いことが特徴的であった。また男性は、「好きな人に思いを伝えたい」「自分の容姿に満足している」など自己肯定感の高さも伺えた。

一方、女性は共感性が男性より高く、社会貢献への意識が高い傾向が認められた。また女性の特徴としては、身体感覚があげられよう。女性として生まれてよかったこと、よくないことで、生理(月経)や出産についてあげられた。自己評価で「太っている」の割合が男性より高く、実際の BMI では「やせ」の割合が高かった。また、女性でよくないことに「女性同士の関係」があげられ、男性は「男性同士は気楽」としていたことと対照的であった。

2. 将来の結婚に対する意思別集計結果

問 20 では結婚の意思「あなたは将来結婚しますか」を設問し、選択肢は 1 する、2 しない、3 わからない、であった。回答のあった 242 名中「結婚する」とした割合は 64%、「しない」は全体の 2%、「わからない」34%であった。ここでは 1 を選択した結婚の意思がはっきりしている 154 名を「結婚群」とし、それ以外の 88 名を「未定群」として 2 群に分けて比較する。有意差の認められた主な項目について、以下にトピック別に述べる。

1) 成育環境について（結婚の意思別）

14～18 歳のころの感情面での両親との関係（問 12）では、父親について「親しく感じていた」は結婚群 55.2%・未定群 36.4%と、結婚群が父親を親しく感じていた割合が高く、未定群の 43.2%は父親の「存在感がなかった」、11.4%が「距離感があった」と感じていた（*）。

母親については、「親しく感じていた」割合が、結婚群 84.4%・未定群 73.9%と両群とも父親についてより高かった。男性で両群間に有意差がみられ、「親しく感じていた」結婚群 89.1%・未定群 65.7%と、結婚群の割合が高かった（*）。

問 17「両親のような夫婦になりたいか」では、「そう思う」「やや思う」を合わせて、結婚群 61%・未定群 37.5%と結婚群の割合が高かった（**）。

問 18「育った家庭のような家庭を築きたい」でも、結婚群 68.8%・未定群 54.6%と、結婚群の割合が高かった（**）。

問 26_1_14「大切に育てられた」に「当てはまる」と回答した割合は結婚群 67.5%・未定群 44.3%で結婚群の割合が高かった（**）。

問 26_1「13 子どもの頃、異年齢集団で遊んだ経験がある」、問 5「出身中学および高校が男女共学か、別学か」では差が認められなかった。

以上から、結婚群は未定群に比べて、思春期の頃に両親を親しく感じており、その夫婦像や育てられた家庭を肯定的に捉え、大切に育てられたと感じているといえる。

2) 恋愛～結婚への展開（結婚の意思別）

問 15 男女の関係やつき合い方についての 15 項目では、「2 結婚を前提としないで、同棲する」のみで差があり、結婚群 56.2%・未定群 70.5%と未定群の肯定する割合が高かった（**）。

問 26-1 の 1～6 で設問した恋愛に関する項目はすべてで差が認められ、恋愛への積極性を示す項目はすべて結婚群の肯定割合が高かった。

「1 早く恋人が欲しい」結婚群 79.9%・未定群 60.2%（**）

「2 いつか人生をともにするパートナーに出会えると思う」結婚群 92.9%・未定群 60.2%（**）

「3 好きな人ができたら、何とかして自分の気持ち伝えたい」結婚群 79.9%・未定群 54.5%（**）

「4 愛し合っていれば性交渉があるのは当然だと思う」結婚群 84.4%・未定群 69.3%（**）

「5 私は、どちらかというと草食系である」結婚群 55.2%・未定群 78.4%（**）

「6 私は、どちらかというと肉食系である」結婚群 41.6%・未定群 20.5%（**）

問 13 結婚への理想の展開では「1 今つき合っている相手と結婚したい」は、結婚群 35.7%・未定群 4.5%で結婚群の割合が高く、「5 卒業してから出会った人とつき合い、いずれ結婚したい」は結婚群 40.3%・未定群 55.7%と、未定群の割合が高かった。

問 24「1 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない」の肯定率は、結婚群 61.4%・未定群 42.5%で結婚群の割合が高かった（**）。

以上から、結婚群は未定群に比べて、恋愛に積極的で、現在結婚を考える相手がいるなど、結婚が現実的であるのに対し、未定群は結婚を将来の出来事として現実的に感じていない傾向があると思われた。しかし、未婚群の 6 割が、早く恋人が欲しいとしており、同棲の容認率は未定群の方が高かったことは、未定群の方が、結婚という制度に対する抵抗感があるか、または法律婚にこだわらない傾向があることも考えられよう。

3) 子ども観（結婚の意思別）

問 21「将来子どもが欲しいですか」では、結婚群 96.1%・未定群 69.3%と、結婚群の肯定率が高かった。希望子ども数については未定群でも 61.4%の回答があり、結婚するかどうか未定であっても子どもは欲しいとする割合は少なくないことが分かった。希望する子どもの人数は平均 2.3 人で、両群間の差はなかった。

子育てに関する考えや価値観では、以下の項目で結婚群の割合が高かった。

問 22「子育てや他者の世話で人は成長するという考え方」を肯定する割合は結婚群 93.5%・未定群 77.3%（**）

問 24_9「子どもは、家庭に明るさや活力を与える」結婚群 97.4%・未定群 87.5%（**）

問 24_10「子どもを育てることは、やりがいがある」結婚群 98.0%・未定群 89.8%（**）

問 24_12「次世代の子ども達のために地球環境をよくしたい」結婚群 86.9%・未定群 79.3%（**）

以上のように、子どもを持つことについては、結婚群ではほぼ全員が希望しており、未定群でも約 7 割が望んでいた。子ども観や子育て観は、結婚群の肯定割合が 9 割以上と高いが、未定群でも 8 割程度肯定しており、全体として子どもや子育ての価値はかなり認識されているといえる。

4) 性役割観（結婚の意思別）

性役割観に関して結婚群の割合が高かった設問項目は以下の通りである。

問 24_2「男性は働いて家計を支え、女性は家事・育児をするものである」結婚群 42.8 %・未定群 25.0%（**）
問 24_8「女性の一番の幸せは、子どもを産み育てることである」結婚群 38.6%・未定群 14.8%（**）

上記のように、結婚群の方が固定的な性役割観を持っている割合が高いが、男女共同参画社会を目指すことについては両群に差がなく8割以上が肯定していた（問 24_13）。一部に、家庭における性役割を固定したまま、男女共同参画社会を目指すとは回答したことが分かる。

5) 社会観（結婚の意思別）

社会貢献については結婚群が意欲的であった。日本の将来に希望が持てるかについては全体の肯定率が 33.8%と低い、両群を比較すると結婚群の方が高い。

問 24_14「自分は社会のために何らかの貢献をしたい」結婚群 85.6%・未定群 75%（*）

問 24_15「自分の人生は社会への貢献なくしては考えられない」結婚群 48.0%・未定群 30.7%（**）

問 24_16「日本の将来には希望が持てる」結婚群 37.5%・未定群 27.3%（**）

6) 自己評価・親密性（結婚の意思別）

問 26-1 の 7~12、問 26-2 においては自己をどう捉えているか、問 27、28 では体格の自己イメージを設問した。

自己の性の受容に関する「7 自分の性（男または女）に生まれてよかったと思う」は、結婚群 92.5%・未定群 82.1%で結婚群の肯定割合が高かった（**）。

自己肯定感「8 私には、他の人にな、よいところがある」は男性のみで差が見られ、結婚群 89.1%・未定群 74.3%と、結婚群の肯定割合が高かった（*）。

「9 自分の容姿に満足している」は差がなかった。

達成動機に関する「10 将来の計画や目標をもっている」結婚群 73.3%・未定群 55.3%で結婚群の肯定割合が高かった（*）。「11 困難なことにぶつかると、かえってやる気が出る」は男性のみ差が見られ、結婚群 69.6%・未定群 28.6%と結婚群の肯定割合が高かった（**）。

共感性について「12 人が悲しんでいるのを見ると、自分も悲しくなる」は、結婚群 86.4%・未定群 76.5%で結婚群の割合が高かった（**）。

親密性は合計得点で差が見られ、平均値は結婚群 17.4、未定群 15.3 と結婚群が高かった（**）。下位項目では「3 私は、あたたかく親しい人間である」「4 私は、もともとひとりぼっちである（R）」「5 私は、他の人たちと親密な関係を持っている」「7 私は、他の人たちとなかなか親しくなれない（R）」で結婚群が有意に高かった。

自己イメージとして体格について尋ねた設問では、実際の身長について、女性で差が見られ、平均身長は結婚群 157.5cm、未定群 159.4cm で結婚群の方が低かった。

BMI の値と体格の自己評価をクロスさせ、評価の適性度別 3 群に分けて性別集計を実施した。女性のみ差がみられ、結婚群では、過大評価（やせ願望）34.3%・適性評価 62.7%・過小評価（太りたい願望）3.0%、未定群は過大 64.9%・適性 35.1%・過小 0%で、女性の結婚群で適性評価の割合が高かった（表 5-8）。

以上のように、結婚群は未定群に比べて、自己の性の受容、自己肯定感（男性のみ）、将来の計画、共感性、親密性において高い値を示した。また、体格イメージでは、女

性の結婚群で適性評価の割合が高かった。

7) 結婚の意思別集計小括

将来の結婚の意思を決めているか否かで、対象の意識や価値観を比較した結果、結婚群は未定群に比べて、両親との関係や、両親の夫婦像を含めた育った家庭を肯定的に捉えていた。家族形成意識は結婚群の方が高いが、未定群でも子どもを希望する割合は高かった。

社会観、達成意欲、自己評価などから、全体として結婚群の方が人格的成熟度は高いと考えられようが、固定的な性役割を肯定する割合は、結婚群の方が高いという結果であった。

3. 結婚の意思を規定する要因-重回帰分析

前項までに、対象の意識や価値観の性差、および結婚群と未定群の違いを明らかにしたが、総合的にみた将来の結婚の規定要因を探るため、問 20 の結婚意思を基準変数として重回帰分析を行った。問 20 の選択肢は、[1 結婚する・2 しない・3 わからない]であったので、[1 しない・2 わからない・3 結婚する]に変換し、結婚する可能性高さによる順位変数とした。使用した説明変数は以下の 52 項目である。

問 17「両親のような夫婦になりたい」（4 件法）

問 18「育ったような家庭をつくりたい」（4 件法）

問 21-1「将来子どもが欲しい」

問 21-1「希望子どもの人数」

問 24 の価値観 16 項目（各 4 件法）

問 26-1 の 14 項目（各 4 件法）

問 26-2 親密性 7 項目（各 5 件法）および合計得点

問 27-1 身長：自己評価（3 件法）

問 27-2 身長：実際の値

問 28-1 体格（体重）：自己評価（3 件法）

問 28-2 体格（体重）：実際の値

問 29-1 メールのやり取り（通／日）

問 29-2 電話の通話時間（分／日）

問 29-3 インターネット（分／日）

問 29-4 ソーシャルネットワークサービス

BMI 評価（1 やせ・2 普通・3 肥満）

体格自己評価（1 やせている・2 普通・3 ふとっている）

1) 男性の結婚の意思を規定する要因

表 1 に示す結果から、男性は、好きな人ができたら何とかして自分の気持ち伝えたい、男性に生まれてよかったと考え、男らしさ・女らしさにこだわらないで個性を発揮した方がよいとは考えず（すなわち、男性は男らしく、女性は女らしくするのがよいと考え）、自分はひとりぼっちだとは思わず、将来の計画や目標を持っているほど、結婚の意思が強くなる傾向があると解釈できる。

2) 女性の結婚の意思を規定する要因

表 2 に示す結果から、女性は、共働きで家事・育児をもつばら女性がしたほうがよいとは考えず、いつかパートナーが見つかると考え、社会貢献に積極的で、身長は低い方で、子育てはやりがいがあると思っているほど、結婚の意思が強くなる傾向があると解釈できる。

3) 重回帰分析の小括

モデルの説明力をみると男女ともに 46%を示しており、結婚の意思について約半分を説明する因子が抽出できた。しかしその内容は男女で異なり、男性は、恋愛に積極的に男らしさを肯定的に捉え、将来の計画があるなど、将来の

結婚を規定する要因として理解できる内容となっている。

一方、女性は、共働きでも家事・育児はもっぱら女性がすることを否定する因子の説明力が最も高く、いつかパートナーに出会えると思う、子育てはやりがいがある、などが続き、将来の結婚の可能性のみならず、結婚生活のあり

方をも規定する内容として理解できる。また、身長や体格の自己評価といった容姿が関連し、社会貢献に積極的など多様な要因があげられた。男性にくらべて、女性の結婚を規定する要因は複雑な形相を示しており、男女で結婚を規定する要因が異なることが明らかとなった。

表 1. 重回帰分析 [基準変数: Q20_1 結婚の意思] 男性

変数	標準偏回帰係数	F 値	(p 値)	偏相関係数
Q26_1_3 好きな人に気持ち伝えたい	0.39	14.2	(0.000)	0.49
Q26_1_7 自分の性 (男) に生まれてよかったと思う	0.33	8.1	(0.007)	0.39
Q24_7 男/女らしさにこだわらない方がよい	-0.26	6.6	(0.014)	-0.35
Q26_2_4 私は、もともとひとりぼっちである (R)	0.21	4.2	(0.047)	0.29
Q26_1_10 将来の計画や目標をもっている	0.16	2.2	(0.145)	0.21

自由度再調整済重相関係数 0.68531 (0.46965)

単相関係数と偏回帰係数の不一致なし

表 2. 重回帰分析 [基準変数: Q20 結婚の意思] 女性

変数	標準偏回帰係数	F 値	(p 値)	偏相関係数
Q24_3 共働きでも、家事・育児はもっぱら女性	-0.38	12.9	(0.001)	-0.42
Q26_1_2 いつかパートナーに出会えると思う	0.36	18.4	(0.000)	0.49
Q24_14 自分は社会のために何らかの貢献をしたい	0.30	8.1	(0.006)	0.35
Q27_1 身長について (1 低い～3 高い)	-0.27	10.2	(0.002)	-0.38
Q24_10 子どもを育てることは、やりがいがある	0.25	7.6	(0.008)	0.34
Q24_12 次世代の子ども達のために地球環境をよくしたい	-0.25	7.0	(0.010)	-0.33
体格評価 1 過大 2 適切 3 過小	0.25	8.7	(0.004)	0.36
Q26_2_5 他の人たちと親密な関係を持てている	-0.23	6.1	(0.016)	-0.31
Q26_1_1_4 大切に育てられた	0.23	6.2	(0.016)	0.31
Q24_2 男性は働いて家計を支え、女性は家事・育児をするものである	0.23	5.1	(0.028)	0.28

自由度再調整済重相関係数 0.68244 (0.46573)

単相関係数と偏回帰係数の不一致なし

4. 仮説の証明

以上の結果を中心に、若干の追加の分析結果を加えながら、3 題の仮説について検討する。これらの仮説は予備調査から導いたものである。

仮説 1：親密性、自己肯定感が高い群は、家族形成に積極的である。

家族形成の積極性については、結婚の意思と子ども希望の有無から検討する。結婚の意思については、結果 2 に示したように、結婚群は、未定群に比べて「私には他の人になり、よいところがある (男性のみ)」「大切に育てられた」と答えた割合が高く、親密性得点も高かった。「自分の性 (男/女) に生まれてよかった」という自己の性の受容については、重回帰分析の結果で見ると、男性において結婚の意思を規定する要因といえた。結婚の意思に関して、仮説 1 は証明されたとと言える。

結婚の意思と子ども希望の相関は 0.489 と高いが、結

婚未定群でも子ども希望は 7 割みられたので、家族形成意識として、子ども希望の有無別に検討の必要である。4 件法得点で算出すると、「自分の性 (男/女) に生まれてよかった」について、子どもを希望する群は 3.39・希望しない群は 2.90 と希望する群の得点が有意に高かった (* *)。「大切に育てられた」についても希望する群は 3.61・希望しない群 3.27 と希望する群の得点が有意に高かった (*)。以上を総合的にみて仮説 1 は証明されたとと言える。

仮説 2：育った環境 (両親との関係、親の夫婦関係など) は、若者の結婚観に関連する。

結果の 2-1) の項に示したように、結婚群は未定群に比べて 14～18 歳のころ父親を「親しく感じていた」割合が高く、未定群は父親について「存在感がなかった」「距離感があった」と感じていた。性別にみても同じ傾向が認められた。

母親については、全体では「親しく感じていた」割合が父親に対してより高かったが、男性では両群間の差がみられ、結婚群の母を「親しく感じていた」割合が高かった。

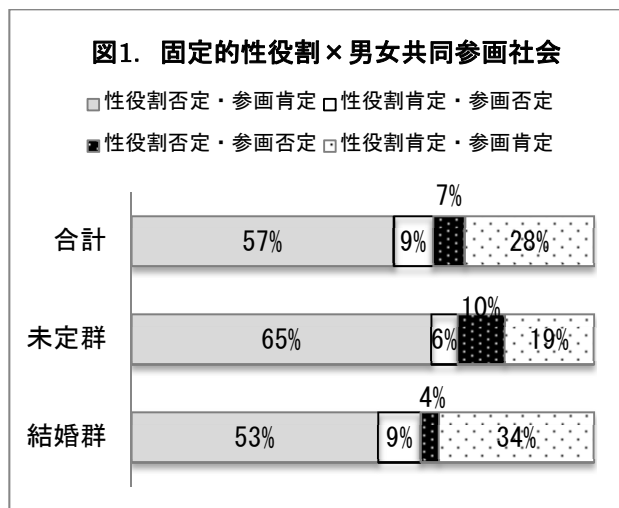
男女ともに父親との親しい関係、男性は母親との親しい関係が、将来の結婚の意思を促進するといえた。

「両親のような夫婦になりたいか」「育った家庭のような家庭を築きたい」「大切に育てられた」のいずれも、結婚群の肯定割合が高かったが、「子どもの頃、異年齢集団で遊んだ経験がある」「出身中学および高校が男女共学か、別学か」では差が認められず、結婚の意思については両親の影響は大きいと考えられ、仮説2は証明できたといえよう。

仮説3：性役割・結婚と仕事の両立などにおけるディレンマやダブルバインドが、若者の家族形成意欲（結婚・出産）を抑制する。

多くの大学生にとって結婚という選択はまだ先のことと捉えられていたが、結婚の阻害要因についての記述回答には、結婚のメリットとデメリットのディレンマが記されていた。女性は「やりたい仕事があるので結婚は後回しになりそう、出産年齢が気になる」「仕事を続けたいが、夫の面倒を見なければならない」「1人が楽しいが、子どもは欲しい」などである。男性は「相手は欲しいが、自分の時間も欲しい」「子どもが生まれると夫婦ではまかないきれない」などである。これらは、結婚群、未婚群双方にあげられていた内容である。

次にダブルバインドについて検討する。結婚群は未婚群にくらべ、固定的な性役割観を持っていたが、問24_13「男女共同参画社会を目指す」については両群ともに8割が肯定しており、「家庭における性役割を肯定し、共同参画社会を肯定する」いわば矛盾する回答があることが推測できた。そこで、この2つの項目をクロス集計し結果を図1に示した。



「固定的な性役割を否定し、男女共同参画を肯定する」（家庭も社会も平等主義）の割合は未婚群が65%と結婚群53%にくらべて高かった。一方「家庭における性役割を肯定し、社会参画を肯定する」（ダブルバインド）割合は、結婚群が34%と未婚群19%と比べて高かった（*）。

この図からいえることは、「固定的な性役割を否定し、男女共同参画をめざす」平等主義の若者が少なからず結婚を躊躇しているということである。その理由としては、記述回答（問25）における「現状が平等になっていない」という指摘があげられよう。自分が理想とする結婚生活を実現するための土壌が社会で整っていないということを感じ、また同じ価値観をもった相手に出会えるかどうかが不確実な中で、結婚の意思を明確にできないものと考えら

れた。

一方「家庭における性役割を肯定し、社会参画を肯定する」すなわち、家事育児は女性が行うという分担はそのまま、社会は共同参画というダブルバインドの価値観を持つ割合は結婚群の3分の1を占めていた。これについては、インタビューでは、自身で矛盾に気づいていなかった例が認められた。男性の叙述で、共働きは「相手が望むなら反対はしないが、子どもを保育所には預けたくない」などである。また、記述回答では平等や対等の意味、解釈が各自で様々であることが伺えた。わが国が、男女共同参画社会を目指すのであれば、次世代にその正しい理念を伝えることが必要である。

以上のように仮説3についてはある程度の確認ができたが、実際の結婚の選択や家族形成との関連については未知数であり、より実証的な研究が必要といえよう。

IV. 考 察

大学生の家族形成意識とそれに関連する因子を調べる目的で質問紙調査を行い分析した。

我々は先行研究において、次世代育成力（養育力）の持つ中核概念を E. H. エリクソンによる成人期の命題“ジェネラティビティ”（邦訳：生殖性、世代性ほか）と捉え、養育力を備えた大人になるためには成人期に至る前までの人との関係における経験の蓄積が大切であることを確認した⁶⁻⁸⁾。今回はジェネラティビティの前段階にあたる前成人期の“親密性”の段階を取り上げた。その理由は、冒頭で述べたように、現在わが国の男女の関係性が希薄になっている傾向が認められ、少子化原因として検討すべき課題と考えたためである。

エリクソンは著書「ライフサイクル、その完結」の中で、親密性について次のように述べている。「青年期の同一性感覚の探究を潜り抜けてきた若き成人たちは、今度は自ら進んで（むさぼるように）彼らの同一性を相互の親密性の中で融合させ、仕事や恋愛や友情の中で相補的な関係を確実に持ちうる個人たちと、その同一性を共有することになる。『恋に落ち』たりねんごろになったりすることもしばしばあるが、しかしここで問題となる親密性は、意義ある犠牲や妥協を要求することもある具体的な提携関係（affiliations）に自分を投入する能力を指している。」さらに、親密性に対する命題は孤立であるが、「この親密と孤立の対立の解決から現れるものが、愛、すなわち男性・女性という分割された機能や役割から必然的に生ずる対立関係を解決しうる、成熟した献身の相互性である」⁹⁾としている。

「意義ある犠牲や妥協」「成熟した献身の相互性」など近い人とパートナーシップを築く上でのキーワードとなろう。このような概念と共にわが国の社会状況を念頭に、大学生の意識と男女の関係性の現状を調べ、男女のパートナーシップ形成の支援について検討する資料を得ようとした。

1. 大学生の家族形成意識についての全体像

大学生の家族形成意識について全体像をみると「結婚する」とした割合は全体では64%で、「しない」は2%と少ないが、「わからない」が34%であった。結婚の意思未定が3分の1を占めることと、「生涯独身でもかまわない」という価値観を持つ割合が半数近いということと併せて考えると、かつて皆婚社会といわれたわが国の結婚規範はかなり弱くなっていることを示していると言えよう。

一方将来「子どもが欲しい」とした割合は約8割で、「結婚する」と回答した6割を大きく上回っていた。子どもを

持つことについては、結婚群ではほぼ全員が希望しており、未定群でも約7割が望んでいた。子ども観や子育て観で肯定的意見の割合は、結婚群は9割以上と高いが、未定群でも8割程度みられた。この子どもについての肯定的態度は、未定群において子どもの価値がより高まるか、公的支援によって子育ての負担が軽減されれば、結婚への促進要因となると考えられ、「子どもは欲しいが、結婚するかどうか分からない」あるいは「子どもが欲しいが、結婚できるかどうか分からない」という若者への支援を総合的に進める必要がある。

そこで、結婚を阻害する要因であるが、記述回答にあげられた内容は「経済的問題」「適当な相手が見つからない」「仕事と家庭の両立の困難」「自分の時間がなくなる」などであった。

これらについて、社会学では、現代の若者にとって結婚は「リスク」であり、未婚は「リスク回避」としての行為という見方がある。本調査で大学生では、恋愛もリスクと捉えられていた。

「リスク」の定義についてみてみると、山田によれば「リスクを危険と訳すと誤解が生じる」とし、危険は英語の danger や hazard といった悪い意味を想起するが、リスクとは「何かを選択する時に、生起する可能性がある危険」であるとされている¹⁰⁾。

奈良によれば、「家族はリスクに対処する単位」であるいっぽう「リスクの発生源ともなる」とされ¹¹⁾、結婚のリスク、子どもを持つリスク、離婚のリスクについて検討した上で、これらは「個人が自らの意思で選択してその事象を負担する事象である。従って、その対処にはまず自助努力が求められるのであるが、しかし制度としてのあるいは集団としての家族（その機能）が社会側にとっても必要であるならば、育児支援、就職支援といった公的な支援の充実がなされなければならないだろう。」としている。

リスク対処を個人にのみ求める社会は、安心して子どもを産める社会とはいえないことは自明である。一方、人の人生において、リスクなしに生きていくことは不可能であり、個人のリスク対処能力を高めることも必要である。

山田は、リスク対処能力のひとつに「コミュニケーション力」をあげており、家族のみならず、職業や公的生活において必要で、公的に支援する必要があると述べている¹²⁾。

以上社会学の知見を参考にしたが、少子問題として次世代を産み育てる養育力や自分以外の存在への関心を育てることについては、別のアプローチも必要と思われる。若者への支援策としての結論は共通する部分が多いと思われるが、ここでは、さらに男女間に特化した問題について検討していきたい。

2. 性差

問24 性役割などの価値観については、男性の方が性役割を肯定したり、男性像のステレオタイプに縛られたりする傾向が認められたが、有意な性差が認められたのは「5 デートの費用は男性が払う」「11 保育園に預けるのはかわいそう」であった。

その他の項目は違いがあっても有意な差ではなく、「7 男らしさ女らしさにこだわらない」「13 男女共同参画社会をめざすべき」は男女とも肯定率が8割以上と高く、男女の価値観が近づいてきていることが伺えた。

しかし、問15のデート・バイオレンスに繋がる行為を許容する割合は男性の方が高かった。このことは、男女の関係を構築していく上で負の要素として考えられ、両性への支援の必要性を示しているといえよう。さらに「男女の相互理解が難しい」が7割に及ぶことは、家族形成に至る

ためにも、その後の家庭を維持していく上でも、男女の関係性を考える支援をしていく必要を示している。

結婚の意思を基準変数とした重回帰分析からは、結婚の規定要因が男女で異なっており、男性より女性の方が複雑な因子をもつ様子が伺えた。女性の特徴としては、やせ願望が認められ、結婚群の方が自己の体格を適性に評価していた。また、女性に生まれてよくなかったと思うことに「生理がつらい」「女性同士の関係が面倒」等があげられ、心身の健康支援が望まれる。

以上に示した男女の価値観の差は、カップル形成を不調にしている可能性が考えられよう。また、男女が必要とする支援の内容は異なる面があり、どちらの性に生まれても充実した人生が送れるような支援とともに、社会環境を整えることが必須である。

3. 意識と価値観—ディレンマとダブルバインド

家庭における性役割と男女共同参画社会の賛否についてのクロス分析では、未定群は「固定的な性役割を否定し、男女共同参画を肯定する」という、現在わが国が目指す方向性を支持する割合が高く、反対に結婚群は「家庭における性役割を肯定し、社会参画を肯定する」ダブルバインドを支持する割合が高かった。すなわち「女性は家にいて家事」と「社会に出る」という2つの相反する要求を満たす結婚を想定している可能性がある。「ダブルバインドが結婚を抑制する」という仮説と反するように捉えられようが、この価値観を持った「結婚する」と答えた群が実際に結婚できるかどうかは無知数であり、結婚の継続可能性を含めて、更なる実証的な研究が必要である。

V. 結 論

結婚の意思のある群は、そうでない群に比べて親密性、自己肯定感の得点が高かった。また、両親との心理的距離が近く、両親のような夫婦になりたいと思う割合が高かった。よって、仮説1 仮説2は証明された。

仮説3の結婚、家庭、仕事に関するディレンマやダブルバインドがあること認められたが、実際の家族形成との関連について、更なるデータ収集と実証研究が必要である。

若者への支援については以下の課題が抽出された。

- DVに繋がる行為の容認度は男性の方が女性より高く、「男女が互いを理解するのは難しい」とした男女が多いことから、将来の家族形成に向けてDVを予防するためにも、男女のパートナーシップ構築への支援が必要である。
- 全体で子どもを希望する割合は8割、結婚の意思ありは6割であった。「子どもが欲しいが、結婚したくない」層への支援が課題である。
- 結婚の意思を規定する要因は、男女で異なっており、社会的問題のみならず、女性は、やせ願望などの問題があり、身体的な自己受容についてのサポートも必要である。
- 結婚の意思について未定の群は、家庭における男女平等と男女共同参画社会を支持する割合が高い。この群が結婚したいと思える社会を用意することが肝要である。

謝 辞

調査に協力いただいた大学生および教員各位に深謝申し上げます。今回インタビューや記述回答の内容についての詳細は掲載できなかった点について、お詫びしたい。貴重

なる資料は今後有効に活用させていただく所存である。

文 献

- 1)「第5回男女の生活と意識に関する調査」結果(速報)厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「望まない妊娠防止に関する総合的研究」班
<http://nk.jiho.jp/servlet/nk/release/pdf/1226502324050>
- 2)第14回出生動向基本調査 結婚と出産に関する全国調査独身調査の結果概要. 国立社会保障・人口問題研究所. 2011.11.25
http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou14_s/point14_s.pdf
- 3)齋藤幸子・宮原忍・他. 少子社会における成人期への移行に関する母子保健学的研究. 日本子ども家庭総合研究所紀要:第46集:127-150. 2010.
- 4)齋藤幸子・宮原忍・他. 少子社会における成人期への移行に関する母子保健学的研究(2). 日本子ども家庭総合研究所紀要:第47集:131-160. 2011.
- 5)中西信男・佐方哲彦. EPSI-エリクソン心理社会的段階目録検査-. 上里一郎監修. 心理アセスメントハンドブック第2版. 東京. 西村書店. 365-376. 2001.
- 6)齋藤幸子・宮原忍・他. 少子社会における養育力の背景とその育成に関する研究(1)-ワーク・ライフ・バランスと養育力に関する調査-. 日本子ども家庭総合研究所紀要:第43集:145-164. 2007
- 7)齋藤幸子・宮原忍・他. 少子社会における養育力の背景とその育成に関する研究(2)-ワーク・ライフ・バランスとジェネラティビティ行動-. 日本子ども家庭総合研究所紀要:第44集:141-164. 2008
- 8)齋藤幸子・宮原忍・他. 少子社会における養育力の背景とその育成に関する研究(3)高校生の性役割観と将来観に関する調査. 日本子ども家庭総合研究所紀要:第45集:143-169. 2009
- 9)E. H. エリクソン・J. M. エリクソン・村瀬孝雄・近藤邦夫訳、ライフサイクル、その完結、東京、みすず書房:93-94、2001(2006第6刷)
- 10)山田昌弘、希望格差社会「負け組」の絶望感が日本を引き裂く、筑摩書房:25-26、2004
- 11)奈良由美子、生活とリスク(第3刷2009)、財団法人放送大学教育振興会:100、2007
- 12)文献10):243

表3. カテゴリー集計表：性別・結婚の意志別—結婚群・未定群(しない+分からない)2群別(%)

性別集計の%ベースは全体および性別全体、無回答は記載していない。結婚の意思別は無回答10件を除いた、242件で集計した。

	男性 %	女性 %	全体 %	検定 χ ² 乗	全体%			男性%			女性%		
					結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計
N	85	167	252		154	88	242	46	35	81	108	53	161
Q5出身中学校													
1 1 共学	90.6	88.6	89.3		88.3	90.9	89.3	87.0	94.3	90.1	88.9	88.7	88.8
2 2 男女別学	8.2	10.8	9.9		10.4	9.1	9.9	10.9	5.7	8.6	10.2	11.3	10.6
Q6出身高校													
1 1 共学	88.2	75.4	79.8	*	79.9	83.0	81.0	87.0	94.3	90.1	76.9	75.5	76.4
2 2 男女別学	10.6	21.6	17.9		17.5	15.9	16.9	10.9	5.7	8.6	20.4	22.6	21.1
Q7_1_1実父													
1 1 健在	94.1	91.0	92.1		92.9	90.9	92.1	95.7	94.3	95.1	91.7	88.7	90.7
2 2 離別	2.4	7.2	5.6		4.5	8.0	5.8	0.0	5.7	2.5	6.5	9.4	7.5
3 3 死別	1.2	1.2	1.2		1.9	0.0	1.2	2.2	0.0	1.2	1.9	0.0	1.2
Q7_2_1実母													
1 1 健在	96.5	96.4	96.4		96.8	96.6	96.7	97.8	97.1	97.5	96.3	96.2	96.3
2 2 離別	0.0	2.4	1.6		2.6	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	2.5
3 3 死別	1.2	0.6	0.8		0.0	2.3	0.8	0.0	2.9	1.2	0.0	1.9	0.6
Q8_1_1同居(MA回答)													
1 1 父	48.2	64.1	58.7	*	58.4	59.1	58.7	43.5	57.1	49.4	64.8	60.4	63.4
2 2 母	55.3	71.9	66.3	*	64.3	68.2	65.7	52.2	60.0	55.6	69.4	73.6	70.8
3 3 きょうだい	47.1	54.5	52.0		48.7	56.8	51.7	47.8	45.7	46.9	49.1	64.2	54.0
4 4 祖父母	7.1	22.2	17.1	* *	16.2	18.2	16.9	4.3	11.4	7.4	21.3	22.6	21.7
5 5 1～4以外の人	1.2	0.6	0.8		1.3	0.0	0.8	2.2	0.0	1.2	0.9	0.0	0.6
6 6 一人暮らし	18.8	21.0	20.2		23.4	14.8	20.2	21.7	11.4	17.3	24.1	17.0	21.7
7 7 寮	22.4	1.2	8.3	* *	7.1	11.4	8.7	21.7	25.7	23.5	0.9	1.9	1.2
Q9_1 きょうだい人数													
1 1 一人っ子	4.7	9.6	7.9		9.7	4.5	7.9	4.3	5.7	4.9	12.0	3.8	9.3
2 2 2人きょうだい	54.1	53.3	53.6		54.5	52.3	53.7	58.7	48.6	54.3	52.8	54.7	53.4
3 3 3人きょうだい	35.3	27.5	30.2		27.3	34.1	29.8	30.4	40.0	34.6	25.9	30.2	27.3
4 4 4人きょうだい	3.5	3.6	3.6		4.5	2.3	3.7	4.3	2.9	3.7	4.6	1.9	3.7
5 5 5人きょうだい	0.0	0.6	0.4		0.0	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.6
Q9_2 出生順位													
1 1 長子	42.4	42.5	42.5		44.8	38.6	42.6	45.7	40.0	43.2	44.4	37.7	42.2
2 2 2番目	41.2	42.5	42.1		39.6	47.7	42.6	37.0	48.6	42.0	40.7	47.2	42.9
3 3 3番目	11.8	7.8	9.1		9.7	5.7	8.3	10.9	8.6	9.9	9.3	3.8	7.5
4 4 4番目	2.4	0.6	1.2		1.3	1.1	1.2	4.3	0.0	2.5	0.0	1.9	0.6
5 5 5番目	0.0	0.6	0.4		0.0	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.6
Q10 きょうだいの性別													
1 1 あなたと同じ性	38.8	31.7	34.1		32.5	33.0	32.6	39.1	34.3	37.0	29.6	32.1	30.4
2 2 違う性	31.8	37.7	35.7		35.7	38.6	36.8	30.4	34.3	32.1	38.0	41.5	39.1
3 3 両方いる	22.4	18.6	19.8		19.5	21.6	20.2	23.9	22.9	23.5	17.6	20.8	18.6
4 4 きょうだいなし	3.5	11.4	8.7		11.0	5.7	9.1	2.2	5.7	3.7	14.8	5.7	11.8
Q11_1_1父11～13歳の頃													
1 1 働いていた(いる)	97.6	95.2	96.0		97.4	94.3	96.3	97.8	97.1	97.5	97.2	92.5	95.7
2 2 働いていない	0.0	1.2	0.8		0.6	1.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.9	1.9	1.2
3 3 わからない・非該当	1.2	1.8	1.6		0.6	3.4	1.7	0.0	2.9	1.2	0.9	3.8	1.9
Q11_1_2父14～15歳の頃													
1 1 働いていた(いる)	96.5	94.0	94.8		96.8	93.2	95.5	95.7	97.1	96.3	97.2	90.6	95.0
2 2 働いていない	0.0	2.4	1.6		0.6	2.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.9	3.8	1.9
3 3 わからない・非該当	2.4	1.8	2.0		1.3	3.4	2.1	2.2	2.9	2.5	0.9	3.8	1.9
Q11_1_3父16～18歳の頃													
1 1 働いていた(いる)	96.5	91.6	93.3		94.2	93.2	93.8	95.7	97.1	96.3	93.5	90.6	92.5
2 2 働いていない	0.0	3.0	2.0		1.3	2.3	1.7	0.0	0.0	0.0	1.9	3.8	2.5
3 3 わからない・非該当	2.4	3.6	3.2		3.2	3.4	3.3	2.2	2.9	2.5	3.7	3.8	3.7
Q11_1_4父現在													
1 1 働いていた(いる)	90.6	88.6	89.3		92.9	84.1	89.7	91.3	91.4	91.4	93.5	79.2	88.8
2 2 働いていない	4.7	5.4	5.2		1.9	9.1	4.5	2.2	5.7	3.7	1.9	11.3	5.0
3 3 わからない・非該当	3.5	3.0	3.2		3.2	3.4	3.3	4.3	2.9	3.7	2.8	3.8	3.1
Q11_2_1母11～13歳の頃													
1 1 働いていた(いる)	54.1	57.5	56.3		53.9	61.4	56.6	50.0	57.1	53.1	55.6	64.2	58.4
2 2 働いていない	41.2	37.1	38.5		40.3	35.2	38.4	43.5	40.0	42.0	38.9	32.1	36.6
3 3 わからない・非該当	3.5	3.6	3.6		4.5	2.3	3.7	4.3	2.9	3.7	4.6	1.9	3.7
Q11_2_2母14～15歳の頃													
1 1 働いていた(いる)	65.9	65.9	65.9		63.0	72.7	66.5	63.0	68.6	65.4	63.0	75.5	67.1
2 2 働いていない	31.8	29.9	30.6		32.5	26.1	30.2	32.6	31.4	32.1	32.4	22.6	29.2
3 3 わからない・非該当	1.2	3.0	2.4		3.2	1.1	2.5	2.2	0.0	1.2	3.7	1.9	3.1
Q11_2_3母16～18歳の頃													
1 1 働いていた(いる)	75.3	69.5	71.4		68.8	76.1	71.5	71.7	77.1	74.1	67.6	75.5	70.2
2 2 働いていない	21.2	26.9	25.0		27.9	20.5	25.2	26.1	17.1	22.2	28.7	22.6	26.7
3 3 わからない・非該当	2.4	2.4	2.4		1.9	3.4	2.5	0.0	5.7	2.5	2.8	1.9	2.5
Q11_2_4母現在													
1 1 働いていた(いる)	75.3	69.5	71.4		69.5	73.9	71.1	71.7	77.1	74.1	68.5	71.7	69.6
2 2 働いていない	21.2	27.5	25.4		27.9	21.6	25.6	26.1	17.1	22.2	28.7	24.5	27.3
3 3 わからない・非該当	2.4	1.2	1.6		1.3	2.3	1.7	0.0	5.7	2.5	1.9	0.0	1.2
Q12_1父親との感情面での関係													
1 1 存在感がなかった	7.1	9.6	8.7		7.8	11.4	9.1	6.5	8.6	7.4	8.3	13.2	9.9
2 2 距離感があった	41.2	34.7	36.9		33.1	43.2	36.8	37.0	48.6	42.0	31.5	39.6	34.2
3 3 親しく感じていた	47.1	49.7	48.8		55.2	36.4	48.3	54.3	34.3	45.7	55.6	37.7	49.7
4 4 いなかった(非該当)	4.7	4.2	4.4		2.6	8.0	4.5	2.2	8.6	4.9	2.8	7.5	4.3

	男性 %	女性 %	全体 %	検定 χ ² 二乗	全体%			男性%			女性%		
					結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計
Q12.2 母親との感情面での関係													
1 存在感がなかった	1.2	3.6	2.8		1.3	5.7	2.9	0.0	2.9	1.2	1.9	7.5	3.7
2 距離感があった	18.8	14.4	15.9		13.6	18.2	15.3	10.9	28.6	18.5	14.8	11.3	13.7
3 親しく感じていた	78.8	80.8	80.2		84.4	73.9	80.6	89.1	65.7	79.0	82.4	79.2	81.4
4 いなかった(非該当)	1.2	0.0	0.4		0.0	1.1	0.4	0.0	2.9	1.2	0.0	0.0	0.0
Q13.1 結婚への理想の展開													
1 したい。	16.5	28.1	24.2		35.7	4.5	24.4	30.4	0.0	17.3	38.0	7.5	28.0
2 したくない。いずれ別の相手を	1.2	1.8	1.6		1.9	1.1	1.7	0.0	2.9	1.2	2.8	0.0	1.9
3 が、誰とも結婚はしない。	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 卒業してから結婚したい。	10.6	10.8	10.7		11.0	10.2	10.7	10.9	11.4	11.1	11.1	9.4	10.6
5 き合い、いずれ結婚したい。	50.6	43.7	46.0		40.3	55.7	45.9	47.8	51.4	49.4	37.0	58.5	44.1
6 思わない。	5.9	4.8	5.2		0.0	13.6	5.0	0.0	14.3	6.2	0.0	13.2	4.3
7 その他	15.3	10.2	11.9		10.4	14.8	12.0	10.9	20.0	14.8	10.2	11.3	10.6
Q15.1. 結婚を前提としないで、セックスをする													
1 よくない	4.7	7.8	6.7		7.1	6.8	7.0	6.5	2.9	4.9	7.4	9.4	8.1
2 どちらかというとよくない	18.8	15.6	16.7		16.9	17.0	16.9	17.4	20.0	18.5	16.7	15.1	16.1
3 どちらかというとかわまない	22.4	34.1	30.2		27.3	34.1	29.8	19.6	25.7	22.2	30.6	39.6	33.5
4 かわまない	52.9	40.7	44.8		48.1	42.0	45.9	56.5	51.4	54.3	44.4	35.8	41.6
Q15.2. 結婚を前提としないで、同棲する													
1 よくない	9.4	9.6	9.5		14.3	2.3	9.9	17.4	0.0	9.9	13.0	3.8	9.9
2 どちらかというとよくない	23.5	29.9	27.8		29.2	27.3	28.5	26.1	22.9	24.7	30.6	30.2	30.4
3 どちらかというとかわまない	28.2	31.7	30.6		28.6	33.0	30.2	26.1	28.6	27.2	29.6	35.8	31.7
4 かわまない	38.8	26.9	31.0		27.3	37.5	31.0	30.4	48.6	38.3	25.9	30.2	27.3
Q15.3. 未婚の男女が避妊しないで、セックスをする													
1 よくない	50.6	65.9	60.7		64.3	58.0	62.0	56.5	45.7	51.9	67.6	66.0	67.1
2 どちらかというとよくない	24.7	22.2	23.0	*	21.4	26.1	23.1	21.7	28.6	24.7	21.3	24.5	22.4
3 どちらかというとかわまない	8.2	7.8	7.9	*	6.5	10.2	7.9	4.3	11.4	7.4	7.4	9.4	8.1
4 かわまない	16.5	2.4	7.1	*	7.1	5.7	6.6	17.4	14.3	16.0	2.8	0.0	1.9
Q15.4. 恋人のいる人が、恋人以外の人とセックスする													
1 よくない	58.8	69.5	65.9		70.1	62.5	67.4	60.9	62.9	61.7	74.1	62.3	70.2
2 どちらかというとよくない	21.2	21.6	21.4	*	20.1	26.1	22.3	23.9	20.0	22.2	18.5	30.2	22.4
3 どちらかというとかわまない	11.8	4.8	7.1	*	5.8	6.8	6.2	8.7	8.6	8.6	4.6	5.7	5.0
4 かわまない	8.2	2.4	4.4	*	3.2	4.5	3.7	6.5	8.6	7.4	1.9	1.9	1.9
Q15.5. 男性が結婚まで童貞でいる													
1 よくない	10.6	4.8	6.7		7.1	6.8	7.0	10.9	11.4	11.1	5.6	3.8	5.0
2 どちらかというとよくない	10.6	7.8	8.7		11.0	5.7	9.1	13.0	8.6	11.1	10.2	3.8	8.1
3 どちらかというとかわまない	25.9	32.3	30.2		29.2	30.7	29.8	23.9	25.7	24.7	31.5	34.0	32.3
4 かわまない	52.9	53.3	53.2		51.9	56.8	53.7	52.2	54.3	53.1	51.9	58.5	54.0
Q15.6. 女性が結婚まで処女でいる													
1 よくない	7.1	4.8	5.6		5.2	6.8	5.8	6.5	8.6	7.4	4.6	5.7	5.0
2 どちらかというとよくない	10.6	4.2	6.3		7.8	3.4	6.2	10.9	8.6	9.9	6.5	0.0	4.3
3 どちらかというとかわまない	23.5	29.9	27.8		27.9	26.1	27.3	21.7	22.9	22.2	30.6	28.3	29.8
4 かわまない	58.8	58.7	58.7		57.8	63.6	59.9	60.9	60.0	60.5	56.5	66.0	59.6
Q15.7. 恋人が相手のメール履歴をチェックする													
1 よくない	54.1	57.5	56.3		53.2	65.9	57.9	47.8	65.7	55.6	55.6	66.0	59.0
2 どちらかというとよくない	23.5	34.1	30.6	*	32.5	25.0	29.8	28.3	14.3	22.2	34.3	32.1	33.5
3 どちらかというとかわまない	7.1	4.8	5.6	*	7.8	2.3	5.8	8.7	5.7	7.4	7.4	0.0	5.0
4 かわまない	15.3	2.4	6.7	*	6.5	6.8	6.6	15.2	14.3	14.8	2.8	1.9	2.5
Q15.8. 恋人が常に相手の居場所を確認する													
1 よくない	56.5	58.1	57.5		57.1	62.5	59.1	58.7	57.1	58.0	56.5	66.0	59.6
2 どちらかというとよくない	27.1	28.7	28.2		29.9	26.1	28.5	26.1	28.6	27.2	31.5	24.5	29.2
3 どちらかというとかわまない	9.4	7.8	8.3		9.1	5.7	7.9	10.9	5.7	8.6	8.3	5.7	7.5
4 かわまない	7.1	4.2	5.2		3.9	5.7	4.5	4.3	8.6	6.2	3.7	3.8	3.7
Q15.9. 恋人が相手に無理にキスをする													
1 よくない	50.6	62.3	58.3		57.8	62.5	59.5	50.0	54.3	51.9	61.1	67.9	63.4
2 どちらかというとよくない	32.9	27.5	29.4	*	31.2	25.0	28.9	32.6	31.4	32.1	30.6	20.8	27.3
3 どちらかというとかわまない	7.1	7.8	7.5	*	8.4	6.8	7.9	10.9	2.9	7.4	7.4	9.4	8.1
4 かわまない	9.4	0.6	3.6	*	1.9	5.7	3.3	6.5	11.4	8.6	0.0	1.9	0.6
Q15.10. 恋人が無理に相手の身体に触る													
1 よくない	54.1	66.5	62.3		60.4	68.2	63.2	52.2	60.0	55.6	63.9	73.6	67.1
2 どちらかというとよくない	31.8	26.9	28.6	*	33.1	21.6	28.9	37.0	25.7	32.1	31.5	18.9	27.3
3 どちらかというとかわまない	4.7	4.2	4.4	*	3.9	4.5	4.1	4.3	2.9	3.7	3.7	5.7	4.3
4 かわまない	9.4	0.6	3.6	*	1.9	5.7	3.3	6.5	11.4	8.6	0.0	1.9	0.6
Q17 両親のような夫婦になりたい													
1 そう思う	24.7	26.3	25.8		33.1	14.8	26.4	39.1	8.6	25.9	30.6	18.9	26.7
2 やや思う	24.7	27.5	26.6		27.9	22.7	26.0	21.7	25.7	23.5	30.6	20.8	27.3
3 あまり思わない	23.5	22.2	22.6		18.8	28.4	22.3	15.2	31.4	22.2	20.4	26.4	22.4
4 全く思わない	14.1	18.6	17.1		14.9	22.7	17.8	10.9	20.0	14.8	16.7	24.5	19.3
5 わからない・非該当	12.9	4.2	7.1		5.2	11.4	7.4	13.0	14.3	13.6	1.9	9.4	4.3
Q18 自分が育ったような家庭を築きたい													
1 そう思う	28.2	36.5	33.7		42.2	20.5	34.3	41.3	14.3	29.6	42.6	24.5	36.6
2 やや思う	31.8	29.3	30.2		26.6	34.1	29.3	26.1	31.4	28.4	26.9	35.8	29.8
3 あまり思わない	18.8	15.6	16.7		18.2	15.9	17.4	17.4	22.9	19.8	18.5	11.3	16.1
4 全く思わない	12.9	15.6	14.7		9.7	23.9	14.9	8.7	20.0	13.6	10.2	26.4	15.5
5 わからない・非該当	8.2	1.8	4.0		3.2	5.7	4.1	6.5	11.4	8.6	1.9	1.9	1.9
Q20.1 結婚すると思いますか													
1 する	54.1	64.7	61.1		100.0	0.0	63.6	100.0	0.0	56.8	100.0	0.0	67.1
2 しない	2.4	1.8	2.0		0.0	5.7	2.1	0.0	5.7	2.5	0.0	5.7	1.9
3 わからない	38.8	29.9	32.9		0.0	94.3	34.3	0.0	94.3	40.7	0.0	94.3	31.1

	男性 %	女性 %	全体 %	検定 χ ² 二乗	全体%			男性%			女性%		
					結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計
Q21_1 将来子どもが欲しいですか													
1 はい	84.7	82.6	83.3		96.1	69.3	86.4	100.0	74.3	88.9	94.4	66.0	85.1
2 いいえ	8.2	9.6	9.1		0.6	25.0	9.5	0.0	20.0	8.6	0.9	28.3	9.9
Q21_2 欲しい子ども人数													
1 1人	3.5	3.6	3.6		4.5	2.3	3.7	4.3	2.9	3.7	4.6	1.9	3.7
2 2人	51.8	48.5	49.6		56.5	42.0	51.2	56.5	51.4	54.3	56.5	35.8	49.7
3 3人	21.2	24.0	23.0		28.6	15.9	24.0	30.4	11.4	22.2	27.8	18.9	24.8
4 4人	1.2	0.6	0.8		0.6	1.1	0.8	2.2	0.0	1.2	0.0	1.9	0.6
Q22_1 子育てや他者の世話で人は成長するという考え方													
1 そう思う	78.8	86.8	84.1		93.5	77.3	87.6	93.5	68.6	82.7	93.5	83.0	90.1
2 そうは思わない	1.2	0.0	0.4		0.0	1.1	0.4	0.0	2.9	1.2	0.0	0.0	0.0
3 どちらとも言えない	11.8	6.0	7.9		3.2	17.0	8.3	6.5	20.0	12.3	1.9	15.1	6.2
Q24_1. 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない													
1 そう思わない	23.5	15.0	17.9		12.3	26.1	17.4	19.6	28.6	23.5	9.3	24.5	14.3
2 あまりそう思わない	15.3	32.3	26.6		26.0	30.7	27.7	10.9	22.9	16.0	32.4	35.8	33.5
3 ややそう思う	27.1	26.9	27.0	*	24.0	31.8	26.9	17.4	37.1	25.9	26.9	28.3	27.3
4 そう思う	32.9	23.4	26.6		37.0	10.2	27.3	52.2	11.4	34.6	30.6	9.4	23.6
Q24_2. 男性は働いて家計を支え、女性は家事・育児をするものである													
1 そう思わない	24.7	27.5	26.6		21.4	35.2	26.4	19.6	31.4	24.7	22.2	37.7	27.3
2 あまりそう思わない	29.4	38.9	35.7		35.1	39.8	36.8	28.3	34.3	30.9	38.0	43.4	39.8
3 ややそう思う	35.3	27.5	30.2		34.4	22.7	30.2	39.1	28.6	34.6	32.4	18.9	28.0
4 そう思う	9.4	4.2	6.0		8.4	2.3	6.2	13.0	5.7	9.9	6.5	0.0	4.3
Q24_3. 共働きの夫婦でも、家事・育児はもっぱら女性がした方がよい													
1 そう思わない	31.8	29.9	30.6		27.9	36.4	31.0	32.6	34.3	33.3	25.9	37.7	29.8
2 あまりそう思わない	37.6	47.9	44.4		48.1	42.0	45.9	37.0	40.0	38.3	52.8	43.4	49.7
3 ややそう思う	23.5	18.0	19.8		20.1	17.0	19.0	23.9	20.0	22.2	18.5	15.1	17.4
4 そう思う	5.9	2.4	3.6		3.2	4.5	3.7	6.5	5.7	6.2	1.9	3.8	2.5
Q24_4. デートは男性から誘うべきである													
1 そう思わない	29.4	22.8	25.0		24.7	27.3	25.6	21.7	42.9	30.9	25.9	17.0	23.0
2 あまりそう思わない	37.6	41.3	40.1		39.0	44.3	40.9	41.3	34.3	38.3	38.0	50.9	42.2
3 ややそう思う	23.5	25.7	25.0		25.3	25.0	25.2	28.3	17.1	23.5	24.1	30.2	26.1
4 そう思う	8.2	7.8	7.9		9.7	3.4	7.4	8.7	5.7	7.4	10.2	1.9	7.5
Q24_5. デートの費用は男性が払うべきである													
1 そう思わない	25.9	38.3	34.1		31.8	39.8	34.7	23.9	31.4	27.2	35.2	45.3	38.5
2 あまりそう思わない	38.8	37.7	38.1		40.3	37.5	39.3	41.3	37.1	39.5	39.8	37.7	39.1
3 ややそう思う	25.9	19.2	21.4		22.1	19.3	21.1	23.9	28.6	25.9	21.3	13.2	18.6
4 そう思う	8.2	3.0	4.8		5.2	3.4	4.5	10.9	2.9	7.4	2.8	3.8	3.1
Q24_6. 男性と女性が、互いのことを理解するのは難しい													
1 そう思わない	8.2	2.4	4.4		4.5	4.5	4.5	10.9	5.7	8.6	1.9	3.8	2.5
2 あまりそう思わない	18.8	28.1	25.0		25.3	25.0	25.2	15.2	20.0	17.3	29.6	28.3	29.2
3 ややそう思う	31.8	43.7	39.7	**	42.2	36.4	40.1	37.0	28.6	33.3	44.4	41.5	43.5
4 そう思う	38.8	24.0	29.0		26.6	34.1	29.3	34.8	45.7	39.5	23.1	26.4	24.2
Q24_7. 男らしさ、女らしさにこだわらないで個性を発揮した方がよい													
1 そう思わない	3.5	2.4	2.8		2.6	3.4	2.9	4.3	2.9	3.7	1.9	3.8	2.5
2 あまりそう思わない	12.9	8.4	9.9		8.4	11.4	9.5	13.0	11.4	12.3	6.5	11.3	8.1
3 ややそう思う	30.6	43.1	38.9		42.2	35.2	39.7	32.6	28.6	30.9	46.3	39.6	44.1
4 そう思う	50.6	44.3	46.4		45.5	50.0	47.1	47.8	57.1	51.9	44.4	45.3	44.7
Q24_8. 女性の一番の幸せは、子どもを産み育てることである													
1 当てはまらない	25.9	26.3	26.2		18.2	40.9	26.4	21.7	34.3	27.2	16.7	45.3	26.1
2 あまり当てはまらない	44.7	40.7	42.1		42.9	44.3	43.4	47.8	42.9	45.7	40.7	45.3	42.2
3 まあ当てはまる	23.5	25.1	24.6		29.9	13.6	24.0	21.7	22.9	22.2	33.3	7.5	24.8
4 当てはまる	4.7	6.0	5.6		8.4	1.1	5.8	8.7	0.0	4.9	8.3	1.9	6.2
Q24_9. 子どもは、家庭に明るさや活気を与える													
1 当てはまらない	1.2	1.2	1.2		0.6	2.3	1.2	0.0	2.9	1.2	0.9	1.9	1.2
2 あまり当てはまらない	7.1	4.8	5.6		1.9	10.2	5.0	2.2	11.4	6.2	1.9	9.4	4.3
3 まあ当てはまる	34.1	29.9	31.3		20.8	47.7	30.6	26.1	42.9	33.3	18.5	50.9	29.2
4 当てはまる	56.5	62.3	60.3		76.0	39.8	62.8	71.7	42.9	59.3	77.8	37.7	64.6
Q24_10. 子どもを育てることは、やりがいがある													
1 当てはまらない	2.4	1.2	1.6		0.6	3.4	1.7	0.0	5.7	2.5	0.9	1.9	1.2
2 あまり当てはまらない	3.5	4.2	4.0		1.3	6.8	3.3	2.2	5.7	3.7	0.9	7.5	3.1
3 まあ当てはまる	36.5	34.7	35.3		25.3	51.1	34.7	21.7	51.4	34.6	26.9	50.9	34.8
4 当てはまる	56.5	58.1	57.5		72.1	38.6	59.9	76.1	37.1	59.3	70.4	39.6	60.2
Q24_11. 子どもを保育所に預けるのはかわいそうなことである													
1 当てはまらない	14.1	21.6	19.0		18.8	20.5	19.4	13.0	17.1	14.8	21.3	22.6	21.7
2 あまり当てはまらない	34.1	41.9	39.3	*	38.3	43.2	40.1	32.6	34.3	33.3	40.7	49.1	43.5
3 まあ当てはまる	32.9	27.5	29.4		32.5	25.0	29.8	39.1	28.6	34.6	29.6	22.6	27.3
4 当てはまる	17.6	7.2	10.7		9.7	11.4	10.3	15.2	20.0	17.3	7.4	5.7	6.8
Q24_12. 次世代の子ども達のために地球環境をよくしたい													
1 当てはまらない	8.2	4.2	5.6		5.2	5.7	5.4	6.5	8.6	7.4	4.6	3.8	4.3
2 あまり当てはまらない	10.6	9.6	9.9		7.8	14.8	10.3	10.9	11.4	11.1	6.5	17.0	9.9
3 まあ当てはまる	42.4	40.1	40.9		35.7	48.9	40.5	30.4	57.1	42.0	38.0	43.4	39.8
4 当てはまる	37.6	43.7	41.7		50.6	29.5	43.0	52.2	22.9	39.5	50.0	34.0	44.7
Q24_13. わが国は男女共同参画社会を目指すべきだ													
1 当てはまらない	4.7	2.4	3.2		3.9	2.3	3.3	4.3	5.7	4.9	3.7	0.0	2.5
2 あまり当てはまらない	17.6	9.0	11.9		9.1	13.6	10.7	15.2	14.3	14.8	6.5	13.2	8.7
3 まあ当てはまる	43.5	52.1	49.2		48.1	53.4	50.0	43.5	48.6	45.7	50.0	56.6	52.2
4 当てはまる	32.9	34.1	33.7		37.7	30.7	35.1	37.0	31.4	34.6	38.0	30.2	35.4
Q24_14. 自分は社会のために何らかの貢献をしたい													
1 当てはまらない	8.2	4.2	5.6		4.5	8.0	5.8	4.3	14.3	8.6	4.6	3.8	4.3

		男性	女性	全体	検定 χ ² 乗	全体%			男性%			女性%		
		%	%	%		結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計
2	あまり当てはまらない	16.5	9.6	11.9		9.7	17.0	12.4	15.2	20.0	17.3	7.4	15.1	9.9
3	まあ当てはまる	35.3	46.7	42.9		41.6	43.2	42.1	26.1	42.9	33.3	48.1	43.4	46.6
4	当てはまる	38.8	37.7	38.1		43.5	31.8	39.3	54.3	22.9	40.7	38.9	37.7	38.5
Q24.15. 自分の人生は社会への貢献なくしては考えられない														
1	当てはまらない	27.1	10.2	15.9	* *	13.0	21.6	16.1	23.9	34.3	28.4	8.3	13.2	9.9
2	あまり当てはまらない	32.9	44.9	40.9		38.3	47.7	41.7	26.1	40.0	32.1	43.5	52.8	46.6
3	まあ当てはまる	21.2	32.3	28.6		31.8	22.7	28.5	23.9	20.0	22.2	35.2	24.5	31.7
4	当てはまる	17.6	10.2	12.7		15.6	8.0	12.8	26.1	5.7	17.3	11.1	9.4	10.6
Q24.16. 日本の将来には希望が持てる														
1	当てはまらない	27.1	20.4	22.6		16.2	35.2	23.1	19.6	37.1	27.2	14.8	34.0	21.1
2	あまり当てはまらない	42.4	41.9	42.1		45.5	37.5	42.6	43.5	42.9	43.2	46.3	34.0	42.2
3	まあ当てはまる	18.8	26.3	23.8		26.6	20.5	24.4	21.7	17.1	19.8	28.7	22.6	26.7
4	当てはまる	10.6	9.0	9.5		10.4	6.8	9.1	15.2	2.9	9.9	8.3	9.4	8.7
Q26.1.1. 早く恋人が欲しい(もういるまたは既婚の場合は4に○)														
1	当てはまらない	9.4	6.0	7.1		5.2	10.2	7.0	8.7	8.6	8.6	3.7	11.3	6.2
2	あまり当てはまらない	15.3	16.2	15.9		9.7	26.1	15.7	8.7	22.9	14.8	10.2	28.3	16.1
3	まあ当てはまる	18.8	29.3	25.8		18.8	36.4	25.2	6.5	34.3	18.5	24.1	37.7	28.6
4	当てはまる	49.4	44.3	46.0		61.0	23.9	47.5	67.4	31.4	51.9	58.3	18.9	45.3
Q26.1.2. いつか人生をともにするパートナーに出会えると思う(もういるまたは既婚の場合は4に○)														
1	当てはまらない	5.9	2.4	3.6		0.6	9.1	3.7	2.2	11.4	6.2	0.0	7.5	2.5
2	あまり当てはまらない	11.8	10.2	10.7		1.3	27.3	10.7	2.2	22.9	11.1	0.9	30.2	10.6
3	まあ当てはまる	31.8	37.7	35.7		30.5	45.5	36.0	19.6	48.6	32.1	35.2	43.4	37.9
4	当てはまる	43.5	45.5	44.8		62.3	14.8	45.0	67.4	14.3	44.4	60.2	15.1	45.3
Q26.1.3. 好きな人ができたら、何とかして自分の気持ち伝えたい														
1	当てはまらない	1.2	6.6	4.8	* *	2.6	9.1	5.0	0.0	2.9	1.2	3.7	13.2	6.8
2	あまり当てはまらない	9.4	25.1	19.8		11.7	33.0	19.4	2.2	14.3	7.4	15.7	45.3	25.5
3	まあ当てはまる	34.1	38.3	36.9		39.0	34.1	37.2	21.7	51.4	34.6	46.3	22.6	38.5
4	当てはまる	48.2	24.6	32.5		40.9	20.5	33.5	67.4	28.6	50.6	29.6	15.1	24.8
Q26.1.4. 愛し合っていれば性交渉があるのは当然だと思う														
1	当てはまらない	3.5	4.2	4.0		2.6	5.7	3.7	0.0	5.7	2.5	3.7	5.7	4.3
2	あまり当てはまらない	9.4	15.0	13.1		8.4	21.6	13.2	4.3	14.3	8.6	10.2	26.4	15.5
3	まあ当てはまる	34.1	37.7	36.5		33.1	43.2	36.8	28.3	42.9	34.6	35.2	43.4	37.9
4	当てはまる	45.9	38.9	41.3		51.3	26.1	42.1	58.7	34.3	48.1	48.1	20.8	39.1
Q26.1.5. 私は、どちらかという草食系である														
1	当てはまらない	9.4	9.0	9.1		11.7	5.7	9.5	13.0	5.7	9.9	11.1	5.7	9.3
2	あまり当てはまらない	18.8	24.0	22.2		27.3	12.5	21.9	26.1	8.6	18.5	27.8	15.1	23.6
3	まあ当てはまる	30.6	34.7	33.3		31.8	35.2	33.1	28.3	31.4	29.6	33.3	37.7	34.8
4	当てはまる	34.1	26.9	29.4		23.4	43.2	30.6	23.9	51.4	35.8	23.1	37.7	28.0
Q26.1.6. 私は、どちらかという肉食系である														
1	当てはまらない	29.4	26.3	27.4		21.4	40.9	28.5	17.4	48.6	30.9	23.1	35.8	27.3
2	あまり当てはまらない	28.2	35.3	32.9		31.2	35.2	32.6	26.1	28.6	27.2	33.3	39.6	35.4
3	まあ当てはまる	25.9	24.0	24.6		29.2	15.9	24.4	32.6	17.1	25.9	27.8	15.1	23.6
4	当てはまる	9.4	9.0	9.1		12.3	4.5	9.5	15.2	2.9	9.9	11.1	5.7	9.3
Q26.1.7. 自分の性(男または女)に生まれてよかったと思う														
1	当てはまらない	2.4	3.0	2.8		1.3	5.7	2.9	0.0	5.7	2.5	1.9	5.7	3.1
2	あまり当てはまらない	10.6	7.2	8.3		5.8	11.4	7.9	2.2	17.1	8.6	7.4	7.5	7.5
3	まあ当てはまる	34.1	40.7	38.5		31.8	50.0	38.4	23.9	48.6	34.6	35.2	50.9	40.4
4	当てはまる	45.9	44.3	44.8		56.5	28.4	46.3	65.2	25.7	48.1	52.8	30.2	45.3
Q26.1.8. 私には、他の人にな、よいところがある														
1	当てはまらない	8.2	4.8	6.0		5.8	6.8	6.2	6.5	11.4	8.6	5.6	3.8	5.0
2	あまり当てはまらない	21.2	35.9	31.0		27.3	39.8	31.8	10.9	37.1	22.2	34.3	41.5	36.6
3	まあ当てはまる	37.6	34.7	35.7		37.7	31.8	35.5	41.3	28.6	35.8	36.1	34.0	35.4
4	当てはまる	25.9	20.4	22.2		24.7	18.2	22.3	32.6	20.0	27.2	21.3	17.0	19.9
Q26.1.9. 自分の容姿に満足している														
1	当てはまらない	18.8	26.3	23.8	*	22.7	27.3	24.4	17.4	22.9	19.8	25.0	30.2	26.7
2	あまり当てはまらない	29.4	41.3	37.3		38.3	37.5	38.0	23.9	37.1	29.6	44.4	37.7	42.2
3	まあ当てはまる	31.8	24.0	26.6		24.7	28.4	26.0	30.4	31.4	30.9	22.2	26.4	23.6
4	当てはまる	12.9	4.2	7.1		9.7	3.4	7.4	19.6	5.7	13.6	5.6	1.9	4.3
Q26.1.10. 将来の計画や目標をもっている														
1	当てはまらない	12.9	9.0	10.3		8.4	14.8	10.7	8.7	20.0	13.6	8.3	11.3	9.3
2	あまり当てはまらない	20.0	21.6	21.0		16.9	28.4	21.1	6.5	34.3	18.5	21.3	24.5	22.4
3	まあ当てはまる	35.3	38.3	37.3		40.9	31.8	37.6	41.3	28.6	35.8	40.7	34.0	38.5
4	当てはまる	24.7	26.3	25.8		28.6	21.6	26.0	34.8	14.3	25.9	25.9	26.4	26.1
Q26.1.11. 困難なことにぶつかると、かえってやる気がでる														
1	当てはまらない	12.9	9.6	10.7	*	9.7	13.6	11.2	8.7	20.0	13.6	10.2	9.4	9.9
2	あまり当てはまらない	27.1	46.7	40.1		40.9	43.2	41.7	13.0	48.6	28.4	52.8	39.6	48.4
3	まあ当てはまる	38.8	26.9	31.0		29.9	28.4	29.3	47.8	22.9	37.0	22.2	32.1	25.5
4	当てはまる	14.1	12.0	12.7		14.3	11.4	13.2	21.7	5.7	14.8	11.1	15.1	12.4
Q26.1.12. 人が悲しんでいるのを見ると、自分も悲しくなる														
1	当てはまらない	4.7	0.6	2.0	* *	1.3	3.4	2.1	2.2	8.6	4.9	0.9	0.0	0.6
2	あまり当てはまらない	22.4	10.2	14.3		11.7	19.3	14.5	26.1	17.1	22.2	5.6	20.8	10.6
3	まあ当てはまる	31.8	45.5	40.9		37.7	47.7	41.3	23.9	42.9	32.1	43.5	50.9	46.0
4	当てはまる	34.1	39.5	37.7		44.8	26.1	38.0	39.1	28.6	34.6	47.2	24.5	39.8
Q26.1.13. 子どもの頃、異年齢集団で遊んだ経験がある														
1	当てはまらない	7.1	3.6	4.8		3.9	6.8	5.0	4.3	11.4	7.4	3.7	3.8	3.7
2	あまり当てはまらない	9.4	19.2	15.9		18.8	12.5	16.5	8.7	11.4	9.9	23.1	13.2	19.9
3	まあ当てはまる	29.4	22.2	24.6		20.1	30.7	24.0	28.3	25.7	27.2	16.7	34.0	22.4
4	当てはまる	47.1	50.9	49.6		52.6	46.6	50.4	50.0	48.6	49.4	53.7	45.3	50.9
Q26.1.14. 大切に育てられた														

	男性 %	女性 %	全体 %	検定 χ ² 乗	全体%			男性%			女性%		
					結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計	結婚群	未定群	合計
1 当てはまらない	1.2	0.0	0.4		0.0	1.1	0.4	0.0	2.9	1.2	0.0	0.0	0.0
2 あまり当てはまらない	4.7	3.6	4.0		3.9	3.4	3.7	6.5	0.0	3.7	2.8	5.7	3.7
3 まあ当てはまる	40.0	28.1	32.1		23.4	47.7	32.2	26.1	57.1	39.5	22.2	41.5	28.6
4 当てはまる	47.1	63.5	57.9		67.5	44.3	59.1	58.7	37.1	49.4	71.3	49.1	64.0
Q26 2.1. 誰かに個人的な話をされると、私は、とまどってしまう(R)													
0 とてもよく当てはまる	5.9	1.8	3.2	*	3.2	3.4	3.3	6.5	5.7	6.2	1.9	1.9	1.9
1 かなり当てはまる	18.8	10.8	13.5		11.7	15.9	13.2	17.4	17.1	17.3	9.3	15.1	11.2
2 あまり当てはまらない	41.2	35.9	37.7		39.0	36.4	38.0	41.3	42.9	42.0	38.0	32.1	36.0
3 ほとんど当てはまらない	14.1	30.5	25.0		25.3	26.1	25.6	10.9	20.0	14.8	31.5	30.2	31.1
4 全く当てはまらない	12.9	16.2	15.1		16.2	13.6	15.3	15.2	11.4	13.6	16.7	15.1	16.1
Q26 2.2. 私は、特定のひとと深いつきあいができる													
0 全く当てはまらない	1.2	0.6	0.8		0.6	1.1	0.8	0.0	2.9	1.2	0.9	0.0	0.6
1 ほとんど当てはまらない	2.4	1.2	1.6		0.6	2.3	1.2	0.0	2.9	1.2	0.9	1.9	1.2
2 あまり当てはまらない	18.8	10.2	13.1		11.0	18.2	13.6	17.4	22.9	19.8	8.3	15.1	10.6
3 かなり当てはまる	35.3	48.5	44.0		43.5	44.3	43.8	30.4	40.0	34.6	49.1	47.2	48.4
4 とてもよく当てはまる	35.3	35.3	35.3		39.6	30.7	36.4	43.5	28.6	37.0	38.0	32.1	36.0
Q26 2.3. 私は、あなたと親密な人間である													
0 全く当てはまらない	3.5	1.2	2.0		1.3	3.4	2.1	4.3	2.9	3.7	0.0	3.8	1.2
1 ほとんど当てはまらない	4.7	7.2	6.3		4.5	9.1	6.2	2.2	5.7	3.7	5.6	11.3	7.5
2 あまり当てはまらない	31.8	41.9	38.5		37.7	39.8	38.4	34.8	28.6	32.1	38.9	47.2	41.6
3 かなり当てはまる	42.4	35.9	38.1		37.7	42.0	39.3	34.8	57.1	44.4	38.9	32.1	36.6
4 とてもよく当てはまる	10.6	9.0	9.5		13.6	2.3	9.5	15.2	2.9	9.9	13.0	1.9	9.3
Q26 2.4. 私は、もともとひとりぼっちである(R)													
0 とてもよく当てはまる	12.9	4.2	7.1	*	4.5	10.2	6.6	8.7	14.3	11.1	2.8	7.5	4.3
1 かなり当てはまる	24.7	19.2	21.0		17.5	27.3	21.1	15.2	37.1	24.7	18.5	20.8	19.3
2 あまり当てはまらない	30.6	31.7	31.3		30.5	34.1	31.8	30.4	34.3	32.1	30.6	34.0	31.7
3 ほとんど当てはまらない	12.9	23.4	19.8		23.4	15.9	20.7	19.6	5.7	13.6	25.0	22.6	24.2
4 全く当てはまらない	11.8	16.8	15.1		18.8	9.1	15.3	17.4	5.7	12.3	19.4	11.3	16.8
Q26 2.5. 私は、他の人たちと親密な関係を持っている													
0 全く当てはまらない	2.4	0.6	1.2		1.3	1.1	1.2	2.2	2.9	2.5	0.9	0.0	0.6
1 ほとんど当てはまらない	3.5	1.2	2.0		1.3	3.4	2.1	0.0	8.6	3.7	1.9	0.0	1.2
2 あまり当てはまらない	30.6	26.3	27.8		26.0	30.7	27.7	26.1	34.3	29.6	25.9	28.3	26.7
3 かなり当てはまる	36.5	53.3	47.6		44.2	55.7	48.3	32.6	45.7	38.3	49.1	62.3	53.4
4 とてもよく当てはまる	20.0	13.2	15.5		22.7	3.4	15.7	30.4	5.7	19.8	19.4	1.9	13.7
Q26 2.6. 私は、他の人よりも目立つのを好まない(R)													
0 とてもよく当てはまる	12.9	20.4	17.9		15.6	22.7	18.2	8.7	17.1	12.3	18.5	26.4	21.1
1 かなり当てはまる	28.2	33.5	31.7		31.2	33.0	31.8	23.9	34.3	28.4	34.3	32.1	33.5
2 あまり当てはまらない	32.9	29.9	31.0		33.1	28.4	31.4	32.6	34.3	33.3	33.3	24.5	30.4
3 ほとんど当てはまらない	10.6	6.0	7.5		8.4	5.7	7.4	15.2	5.7	11.1	5.6	5.7	5.6
4 全く当てはまらない	8.2	6.0	6.7		7.1	6.8	7.0	10.9	5.7	8.6	5.6	7.5	6.2
Q26 2.7. 私は、他の人たちとなかなか親しくなれない(R)													
0 とてもよく当てはまる	9.4	9.0	9.1		7.1	11.4	8.7	4.3	11.4	7.4	8.3	11.3	9.3
1 かなり当てはまる	21.2	16.2	17.9		17.5	19.3	18.2	21.7	22.9	22.2	15.7	17.0	16.1
2 あまり当てはまらない	36.5	31.7	33.3		29.2	40.9	33.5	30.4	45.7	37.0	28.7	37.7	31.7
3 ほとんど当てはまらない	11.8	27.5	22.2		25.3	18.2	22.7	10.9	14.3	12.3	31.5	20.8	28.0
4 全く当てはまらない	14.1	11.4	12.3		16.2	6.8	12.8	23.9	2.9	14.8	13.0	9.4	11.8
Q27.1 あなたの身長は													
1 低い	23.5	25.7	25.0		26.6	22.7	25.2	19.6	31.4	24.7	29.6	17.0	25.5
2 普通	45.9	51.5	49.6		48.1	53.4	50.0	45.7	45.7	45.7	49.1	58.5	52.2
3 高い	21.2	16.8	18.3		18.8	18.2	18.6	23.9	17.1	21.0	16.7	18.9	17.4
Q28.1 あなたの体格は													
1 太っている	18.8	35.3	29.8	* *	27.3	36.4	30.6	10.9	31.4	19.8	34.3	39.6	36.0
2 普通	50.6	49.7	50.0		53.9	43.2	50.0	56.5	40.0	49.4	52.8	45.3	50.3
3 やせている	20.0	6.6	11.1		10.4	12.5	11.2	19.6	22.9	21.0	6.5	5.7	6.2
Q29.4 SNSの利用													
1 はい	60.0	70.1	66.7	*	71.4	60.2	67.4	60.9	5.9	60.5	75.9	60.4	70.8
2 いいえ	25.9	16.8	19.8		17.5	26.1	20.7	26.1	2.8	27.2	13.9	24.5	17.4
Q29 SNSの種類													
Q29.5.1 Mixi	54.1	61.7	59.1	*	68.2	45.5	59.9	63.0	4.5	55.6	70.4	45.3	62.1
Q29.5.2 Facebook	27.1	29.3	28.6		68.2	45.5	59.9	63.0	4.5	55.6	70.4	45.3	62.1
Q29.5.3 Twitter	44.7	61.1	55.6		35.7	17.0	28.9	34.8	2.0	28.4	36.1	15.1	29.2
Q29.5.4 その他	4.7	3.0	3.6		59.1	52.3	56.6	43.5	4.8	45.7	65.7	54.7	62.1

表4:問15, 17,18, 24, 26平均値の比較

		全体	男性	女性	順位 和検 定	合計	結婚群	未定群	順位 和検 定	男性 のみ	女性 のみ
Q15選択肢: 1 よくないー4 かまわない											
Q15_1	結婚を前提としないで、セックスをする	3.15	3.25	3.1		3.15	3.17	3.11			
Q15_2	結婚を前提としないで、同棲する	2.84	2.96	2.77		2.84	2.69	3.06	* *	*	
Q15_3	未婚の男女が避妊しないで、セックスをする	1.61	1.91	1.46	* *	1.61	1.56	1.64			
Q15_4	恋人のいる人が、恋人以外の人とセックスする	1.49	1.69	1.39	*	1.49	1.42	1.53			
Q15_5	男性が結婚まで童貞でいる	3.31	3.21	3.37		3.31	3.27	3.38			
Q15_6	女性が結婚まで処女でいる	3.42	3.34	3.46		3.42	3.4	3.47			
Q15_7	恋人が相手のメール履歴をチェックする	1.62	1.84	1.52		1.62	1.68	1.5			
Q15_8	恋人が常に相手の居場所を確認する	1.61	1.67	1.58		1.61	1.6	1.55			
Q15_9	恋人が相手に無理にキスをする	1.56	1.75	1.46	*	1.56	1.54	1.56			
Q15_10	恋人が無理に相手の身体に触る	1.49	1.69	1.38	*	1.49	1.47	1.48			
Q17,18選択肢: 1 存在感なし 2 距離感あり 3 親しく感じていた											
Q17	父との感情関係(逆転項目そのまま)	2.53	2.66	2.46		2.53	2.31	2.93	* *	*	* *
Q18	母との感情関係(逆転項目そのまま)	2.24	2.41	2.16		2.24	2.05	2.6	* *	* *	*
Q24選択肢: 1 そう思わないー4 そう思う											
Q24_1	生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	2.64	2.7	2.6		2.64	2.86	2.26	* *	* *	* *
Q24_2	男性は働いて家計を支え、女性は家事・育児をするものである	2.16	2.3	2.09		2.16	2.3	1.92	* *	* *	* *
Q24_3	共働きの夫婦でも、家事・育児はもっぱら女性がした方がよい	1.96	2.04	1.93		1.96	1.99	1.9			
Q24_4	デートは男性から誘うべきである	2.16	2.11	2.19		2.16	2.2	2.05			
Q24_5	デートの費用は男性が払うべきである	1.97	2.17	1.87	*	1.97	2.01	1.86			
Q24_6	男性と女性が、互いのことを理解するのは難しい	2.95	3.04	2.91		2.95	2.92	3			
Q24_7	男らしさ、女らしさにこだわらないで個性を発揮した方がよい	3.32	3.31	3.32		3.32	3.32	3.32			
Q24_8	女性の一番の幸せは、子どもを産み育てることである	2.1	2.07	2.11		2.1	2.29	1.75	* *		* *
Q24_9	子どもは、家庭に明るさや活気を与える	3.53	3.48	3.56		3.53	3.73	3.25	* *	* *	* *
Q24_10	子どもを育てることは、やりがいがある	3.51	3.49	3.52		3.51	3.7	3.25	* *	* *	* *
Q24_11	子どもを保育所に預けるのはかわいそうなことである	2.32	2.55	2.21	* *	2.32	2.33	2.27			
Q24_12	次世代の子ども達のために地球環境をよくしたい	3.21	3.11	3.26		3.21	3.33	3.03	* *	*	*
Q24_13	わが国は男女共同参画社会を目指すべきだ	3.16	3.06	3.21		3.16	3.21	3.13			
Q24_14	自分は社会のために何らかの貢献をしたい	3.15	3.06	3.2		3.15	3.25	2.99	*	* *	
Q24_15	自分の人生は社会への貢献なくしては考えられない	2.39	2.3	2.44		2.39	2.51	2.17	* *	*	
Q24_16	日本の将来には希望が持てる	2.21	2.13	2.25		2.21	2.32	1.99	* *	*	
Q26-1選択肢: 1 当てはまらないー4 当てはまる											
Q26_1_1	早く恋人が欲しい(もういるまたは既婚の場合は4に○)	3.17	3.16	3.17		3.17	3.43	2.76	* *	* *	* *
Q26_1_2	いつか人生をともにするパートナーに出会えると思う(同上)	3.28	3.22	3.32		3.28	3.63	2.68	* *	* *	* *
Q26_1_3	好きな人ができたら、何とかして自分の気持ち伝えたい	3.03	3.39	2.85	* *	3.03	3.26	2.68	* *	* *	* *
Q26_1_4	愛し合っていれば性交渉があるのは当然だと思う	3.21	3.32	3.16		3.21	3.39	2.93	* *	* *	* *
Q26_1_5	私は、どちらかというと草食系である	2.88	2.96	2.84		2.88	2.71	3.2	* *	* *	*
Q26_1_6	私は、どちらかというと肉食系である	2.16	2.16	2.16		2.16	2.34	1.84	* *	* *	*
Q26_1_7	自分の性(男または女)に生まれてよかったと思う	3.33	3.33	3.33		3.33	3.5	3.06	* *	* *	*
Q26_1_8	私には、他の人になく、よいところがある	2.78	2.87	2.74		2.78	2.85	2.64		*	
Q26_1_9	自分の容姿に満足している	2.18	2.42	2.06	* *	2.18	2.22	2.08			
Q26_1_10	将来の計画や目標をもっている	2.83	2.77	2.86		2.83	2.95	2.62	*	* *	
Q26_1_11	困難なことにぶつかると、かえってやる気がでる	2.48	2.58	2.43		2.48	2.51	2.39		* *	
Q26_1_12	人が悲しんでいるのを見ると、自分も悲しくなる	3.21	3.03	3.29	*	3.21	3.32	3	* *		* *
Q26_1_13	子どもの頃、異年齢集団で遊んだ経験がある	3.26	3.25	3.26		3.26	3.27	3.21			
Q26_1_14	大切に育てられた	3.56	3.43	3.63	*	3.56	3.67	3.4	* *		* *
Q26-2選択肢: 0 全く当てはまらないー4 とてもよく当てはまる											
Q26_2_1	誰かに個人的な話をされると、私は、とまどってしまう	2.37	2.1	2.51	* *	2.37	2.41	2.32			
Q26_2_2	私は、特定の人と深いつきあいができる	3.18	3.09	3.22		3.18	3.27	3.05			
Q26_2_3	私は、あたたかく親切的な人間である	2.5	2.56	2.47		2.5	2.61	2.32	*		* *
Q26_2_4	私は、もともとひとりぼっちである	2.16	1.85	2.31	* *	2.16	2.36	1.86	* *	* *	
Q26_2_5	私は、他の人たちと親密な関係を持っている	2.79	2.73	2.82		2.79	2.9	2.6	* *	*	
Q26_2_6	私は、他の人よりも目立つのを好まない	1.51	1.71	1.41	*	1.51	1.59	1.39			
Q26_2_7	私は、他の人たちとなかなか親しくなれない	2.11	2	2.17		2.11	2.27	1.89	*		
Q26親密性合計		16.6	16	16.9		16.6	17.4	15.3	* *	*	*

表5. 体格評価について

表5-1. Q27. 身長自己評価別、実際の身長平均値(cm)

		1低い	2普通	3高い
男性	平均	165.6	171.2	179.8
	標準偏差	3.6	2.8	3.1
女性	平均	152.2	158.7	164.9
	標準偏差	3.5	2.6	2.8

表5-2. Q28. 体格自己評価別実際の体重平均値(kg)

		1太っている	2普通	3やせている
男性	平均	71.1	64.3	55.7
	標準偏差	10.7	6.7	4.5
女性	平均	56.7	47.1	44.4
	標準偏差	6.6	4.3	4.8

表5-3. 男女別BMI平均値: BMI=体重(kg)/身長(m)²

性別	平均値	度数	標準偏差	最小値	最大値
男	21.63	73	2.74	18.04	29.04
女	20.08	106	2.44	15.42	31.11

表5-4. 男女別自己評価別BMI平均値:

		1太っている	2普通	3やせている
男性	平均	24.2	21.7	18.9
	標準偏差	3.0	2.0	0.6
女性	平均	22.5	19.2	17.4
	標準偏差	2.4	1.3	1.2

表5-5. 男女別BMI分類別割合

BMI	やせ	標準	肥満
	BMI18.5未満	BMI18.5～25未満	BMI25以上
男性	6.8%	82.2%	11.0%
女性	24.5%	72.6%	2.8%

表5-6. 男女別BMIと自己評価の関連

	BMI やせ	BMI 標準	BMI 肥満
1太っている	該当なし	1過大評価	2適性評価
2普通	1過大評価	2適性評価	3過小評価
3やせている	2適性評価	3過小評価	該当なし

「自己評価適性度別3群分類」

1. 実際のBMIがやせ、自己評価が普通＝過大評価
1. 実際のBMIが標準、自己評価が太っている＝過大評価
2. BMIカテゴリーと自己評価が一致＝適正評価
3. 実際のBMIが標準、自己評価がやせている＝過小評価
3. 実際のBMIが肥満、自己評価が普通＝過小評価

表5-7. 男女別「自己評価適性度別」割合

	1過大評価 (やせ願望)	2適正評価	3過小評価 (太りたい願望)
男性	15.3%	63.9%	20.8%
女性	45.3%	52.8%	1.9%

表5-8. 結婚の意思別「自己評価適性度別」割合

		1過大評価 (やせ願望)	2適正評価	3過小評価 (太りたい願望)	計
男性	結婚群	10.3%	66.7%	23.1%	100.0%
	未定群	22.6%	58.1%	19.4%	100.0%
女性	結婚群	34.3%	62.7%	3.0%	100.0%
	未定群	64.9%	35.1%	0.0%	100.0%

14. 学生の恋愛や男女の関係性について、困っていることや感じることなどあったら書いてください。

15. あなたは、次のことについてどう思いますか。それぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

	1. よくない	2.どちらか というところ がない	3. どちらか というところ が多い	4. かわらない
1. 結婚を前提としないで、セックスをする	1	2	3	4
2. 結婚を前提としないで、同棲する	1	2	3	4
3. 未婚の男女が遊ばないで、セックスをする	1	2	3	4
4. 恋人のいる人が、恋人以外の人とセックスする	1	2	3	4
5. 男性が結婚まで童貞でいる	1	2	3	4
6. 女性が結婚まで処女でいる	1	2	3	4
7. 恋人が相手のメール履歴をチェックする	1	2	3	4
8. 恋人が常に向手の居場所を確認する	1	2	3	4
9. 恋人が相手に無理にキスをする	1	2	3	4
10. 恋人が無理に相手の身体に触る	1	2	3	4

16. 男性または女性として生まれてよかったと思うこと、よくないと思うことがあったら教えてください。

よかったこと

よくないこと

17. あなたは将来のパートナーと、あなたのご両親のような夫婦になりたいと思いますか。

1. そう思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない 5. わからない・非該当

18. あなたは将来のパートナーと、あなたが育ったような家庭を築きたいと思いますか。

1. そう思う 2. やや思う 3. あまり思わない 4. 全く思わない 5. わからない・非該当

19. あなたのご両親のあり方（親として、人として、夫婦として）は、あなたの結婚観や家庭観にどのように影響を及ぼしていると思いますか。プラス面とマイナス面どちらでもいいので書いてください。

20. あなたは結婚すると思いますか。（ 1. する 2. しない 3. わからない ）
結婚することに阻害要因があると思うと何が考えられますか。結婚しないと思う方は、その理由が社会的問題の場合、社会や周囲がどう変われば良いかについて記入して下さい。

若者の恋愛観・将来観についてのアンケート

このアンケートは無記名で、回答は統計的に処理し、個別の回答内容が丸ごと公表されることはありません。従って、プライバシーは完全に守られます。また、回答は強制ではありません。以下の目的に賛同しご協力いただける場合に回答してください。調査目的は、次世代育成支援策に関して政府へ提言するために、若者の生の声を集めることです。大人や社会に対して言いたい事や政府への要望を自由に書いてください。

注) 恐れ入りますが、既婚の方は、回答可能な項目のみお答えください。

答え方

1. 質問をよく読んで、あなたのあてはまる答えの番号を○でかこんでください。

2. 空欄の（ ）の中には、あてはまる言葉や数字を記入してください。

3. □の中には、自由に記述してください。

1. あなたは（ 1. 男 2. 女 ）（ 1. 未婚 2. 既婚 ） 2. 年 齢 （ ） 歳
3. 学 年 大学（ 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ）年 ・ 5. 大学院生
4. 現在の専攻は（ ）学科 → 1. 文系 2. 理系 3. 芸術系 4. その他（ ）
5. 出身中学校は（ 1. 共学 2. 男女別学 ） 6. 出身高校は （ 1. 共学 2. 男女別学 ）

7. あなたの、ご両親について伺います。あてはまる番号に○をつけてください。

実父 1. 健在 2. 離別（ 歳時） 3. 死別（ 歳時） 4. その他（養父などについて： ）
実母 1. 健在 2. 離別（ 歳時） 3. 死別（ 歳時） 4. その他（養母などについて： ）

8. 現在あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父 2. 母 3. きょうだい 4. 祖父母 5. 1～4以外の人（ ） 6. 一人暮らし 7. 寮

9. あなたは、何人きょうだいの何番目ですか。（ ）人きょうだいの（ ）番目

10. きょうだいの性別は 1. あなたと同じ性 2. 違う性 3. 両方いる 4. きょうだいなし

11. あなたが11歳から現在まで、ご両親（養父母含む）は働いていましたか（パート勤務も含む）。それぞれの年齢区分ごとに当てはまる番号に○をつけてください。

	父 親		母 親	
	1. 働いて いた（いる）	2. 働いて いない	1. 働いて いた（いる）	2. 働いて いない
11～13歳の頃	1	2	3	1
14～15歳の頃	1	2	3	1
16～18歳の頃	1	2	3	1
現 在	1	2	3	1

12. あなたが14歳から18歳くらいの頃、あなたと両親との感情面での関係について、最も近いと思う項目の番号を1つずつ選んで○をつけてください。

父親： 1. 存在感がなかった 2. 距離感があった 3. 親しく感じていた 4. いなかった（非該当）
母親： 1. 存在感がなかった 2. 距離感があった 3. 親しく感じていた 4. いなかった（非該当）

13. あなたは将来（または今すぐ）、結婚して家庭をもちたいと思いますか。理想の展開を教えてください。

1. 今つき合っている相手と結婚したい。
2. つき合っている相手とは結婚したくない。いずれ別の相手を見つけて結婚したい。
3. つき合っている相手はいるが、誰とも結婚はしない。
4. 学生のうちに相手を見つけて、卒業してから結婚したい。
5. 卒業してから出会った人につき合い、いずれ結婚したい。
6. 結婚して家庭をもちたいとは思わない。
7. その他、ご自由にお書きください。

21. あなたは将来子どもが欲しいですか。(1. はい 2. いいえ) → 「1. はい」の場合の人数 () 人
欲しい・欲しくない、それぞれの理由を書いてください。またどのような条件を整えば、「子どもを育ててもよい」と考えられるようになるでしょう。自由に書いてください。

22. 子どもを育てたり、他者の世話をしたりすることで人は成長するという考え方があります。あなた自身はこの考え方をどう思いますか。(1. そう思う 2. そうは思わない 3. どちらとも言えない)

23. わが国の少子化問題についてどう考えますか。このまま子どもが減ってもいいですか、それともより画期的な対策をとるべきだと思いますか。

24. 次の文章を読んであなたの考えにあてはまる答えの番号を○で囲んでください。

	4. そう思う	3. やや そう思う	2. あまり そう思わない	1. そう思 わない
1. 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	4	3	2	1
2. 男性は働いて家計を支え、女性は家事・育児をするものである	4	3	2	1
3. 共働き夫婦でも、家事・育児はもっぱら女性がした方がよい	4	3	2	1
4. デートは男性から誘うべきである	4	3	2	1
5. デートの費用は男性が払うべきである	4	3	2	1
6. 男性と女性が、互いのことを理解するのは難しい	4	3	2	1
7. 男らしさ、女らしさにこだわらないで個性を発揮した方がよい	4	3	2	1
8. 女性の一番の幸せは、子どもを産み育てることである	4	3	2	1
9. 子どもを育てることは、やりがいがある	4	3	2	1
10. 子どもを保育所に預けるのはかわいそうなことである	4	3	2	1
11. 子どもを保育所に預けるのはかわいそうなことである	4	3	2	1
12. 次世代の子ども達のために地球環境をよくしたい	4	3	2	1
13. わが国は男女共同参画社会を目指すべきだ	4	3	2	1
14. 自分は社会のために何らかの貢献をしたい	4	3	2	1
15. 自分の人生は社会への貢献なくしては考えられない	4	3	2	1
16. 日本の将来には希望が持てる	4	3	2	1

25. 男女平等、夫婦は対等である、男女共同参画社会、等について意見があったら、書いてください。

26. 最後に、あなたご自身についておたずねします。当てはまる番号に○をつけてください。

26-1	4. 当てはまる	3. まああてはまる	2. あまり当てはまらない	1. 当てはまらない
1. 早く恋人が欲しい (もういるまたは既婚の場合は4に○)	4	3	2	1
2. いつか人生をともにするパートナーに出会えると思う (同上)	4	3	2	1
3. 好きな人がきたら、何とかして自分の気持ち伝えたい	4	3	2	1
4. 愛し合っていれば性交渉があるのは当然だと思う	4	3	2	1
5. 私は、どちらかというと草食系である	4	3	2	1
6. 私は、どちらかというと肉食系である	4	3	2	1
7. 自分の性 (男または女) に生まれてよかったと思う	4	3	2	1
8. 私には、他の人(ない、よい)ところがある	4	3	2	1
9. 自分の容姿に満足している	4	3	2	1
10. 将来の計画や目標をもっている	4	3	2	1
11. 困難なことにぶつかると、かえってやる気が出る	4	3	2	1
12. 人が悲しんでいるのを見ると、自分も悲しくなる	4	3	2	1
13. 子どもの頃、異年齢集団で遊んだ経験がある	4	3	2	1
14. 大切に育てられた	4	3	2	1

26-2	4. とてもよく当てはまる	3. かなり当てはまる	2. あまり当てはまらない	1. ほとんど当てはまらない	0. 全く当てはまらない
1. 誰かに個人的な話をされると、私は、とまどってしまう	4	3	2	1	0
2. 私は、特定のひとと深いつきあいができる	4	3	2	1	0
3. 私は、あたたかく親切的人間である	4	3	2	1	0
4. 私は、もともとひとりとほつちである	4	3	2	1	0
5. 私は、他の人たちと親密な関係を維持している	4	3	2	1	0
6. 私は、他の人よりも自立つのを好まない	4	3	2	1	0
7. 私は、他の人たちとなかなか親しくなれない	4	3	2	1	0

27. あなたの身長は (1. 低い 2. 普通 3. 高い) 実際の身長 () cm
28. あなたの体格は (1. 太っている 2. 普通 3. やせている) 実際の体重 () kg

29. ケイタイやネットの利用について、次の質問に答えてください。

1. 1日にメールのやり取りは何通くらいしますか。() 通くらい
2. 1日にどれくらい電話で話しますか。() 分間くらい
3. 1日にどれくらいケイタイやインターネットを使っていますか (電話で話す時間を除く)。延べ () 時間 () 分くらい
4. SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) を利用していますか。「1. はい」の場合、利用しているものすべてに○をつけてください。
1. Mixi 2. Facebook 3. Twitter 4. その他 ()

30. その他のご意見や全体に関わる問題、社会や政府への要望などありましたら、自由に書いてください。

*** ご協力ありがとうございました*** (なおご意見はメールでも受け付けます)

調査責任者：日本子ども家庭総合研究所 齋藤幸子 (連絡先 03-3473-8342 : saito_sa@aiku.or.jp)
結果は、ホームページなどで公表いたします。http://www.aiku.or.jp/index.htm